

User Guide

D02NE

取扱説明書



EMOBILE D02NE User Guide

© イー・モバイル株式会社

- 本書内で使用されている表示画面、イラストなどは説明用に作成されたものです。
- 本書の内容に関して、一部でも無断転載することは禁じられています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、ご契約先の窓口へお申しつけください。
- 乱丁、落丁はお取り替え致します。

Windows®、Microsoft® は、米国Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
Windows Vista® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Windows® は、Microsoft® Windows® operating system の略称です。
Windows Vista® は、Windows Vista® Business operating system、Windows Vista® Home Basic operating system、Windows Vista® Home Premium operating system、またはWindows Vista® Ultimate operating systemの略称です。
Windows® XPは、Windows® XP Professional operating system、またはWindows® XP Home Edition operating systemの略称です。
Windows® 2000は、Windows® 2000 Professional operating systemの略称です。

Hayesは、米国Hayes Micro Computer Products, Inc.の商標または登録商標です。
PC Cardは、PCMCIA (Personal Computer Memory Card International Association ; 米国) の商標または登録商標です。
フリーダイヤルサービス名称およびフリーダイヤルロゴマークは、NTTコミュニケーションズの商標または登録商標です。
その他、商品名および製品名などは、一般に各社の商標または登録商標です。

下記の一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。

Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations:

4,901,307	5,490,165	5,056,109	5,504,773	5,101,501	5,506,865
5,109,390	5,511,073	5,228,054	5,535,239	5,267,261	5,544,196
5,267,262	5,568,483	5,337,338	5,600,754	5,414,796	5,657,420
5,416,797	5,659,569	5,710,784	5,778,338		

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理するようお願い致します。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。



モバイル・リサイクル・ネットワーク

携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客さまが不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカー問わず左記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行なっています。

はじめに

この度は、W-CDMA/HSDPAデータ通信カードDO2NE（以下、本製品）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。またお読みになった後は、いつでも見られるようお手元大切に保管してください。不明な点がございましたら、ご契約先の窓口にご連絡ください。

動作環境（対応OS）

本製品が使用できる環境は次のとおりです。

- Windows 2000 日本語版 ServicePack 4以降
- Windows XP 日本語版 ServicePack 2以降
- Windows Vista 日本語版
- PC Card Standardに準拠したCardbus対応PCカードスロット TYPE II を持つもの。

上記に該当する場合でも、パソコン本体・接続されている周辺機器、使用するアプリケーションなど、お客さまがご利用の環境によっては、正常に動作しない場合があります。

- お願い**
- パソコンに対するサポートやOSのバージョンアップなどのサービスに関するお問い合わせは、各マニュアルをお読みの上、各メーカーの定める手順に従ってください。
 - Windows Vistaについては、同梱のWindows Vistaセットアップマニュアルを参照してください。

ご利用いただくにあたって

- サービスエリア内であっても、屋内や電車の中、トンネル、地下、ビルの陰、山間部など電波の伝わりにくいところでは、通信ができない場合があります。また地域的に電波の伝わりにくい場所もありますのであらかじめご了承ください。
- 電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通信が途切れることとなります。電波状態が良いところでも通信が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本製品は高い秘匿性を有しておりますが、電波を使用している以上、第三者に通信を傍受される可能性がないとはいえません。留意してご利用ください。
- 本製品は日本国内でのご利用を前提としています。海外に持ち出での使用はできません。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- EM chipを取り付けていない状態では使用できません。
- 本書および本書に記載された製品の使用によって発生した損害、およびその回復に要する費用については、当社は一切の責任を負いません。

ご使用前に、必ず「安全上のご注意」をよくお読みになり、安全に正しくお取り扱いください。

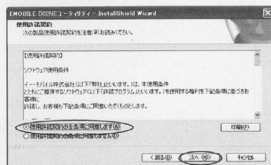
取扱説明書の使い方

本書は本製品の扱い方を説明するにあたり、次のような記載をしています。内容をよく理解していただき、本製品を正しく有効に使ってください。

章番号

2 セットアップから通信まで

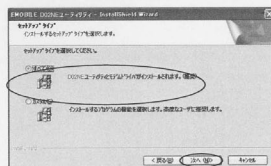
4 使用許諾契約の画面が表示されるので、同意される場合は[次へ]をクリックします。



Windows XPや、Windows 2000の画面を表示して説明します。

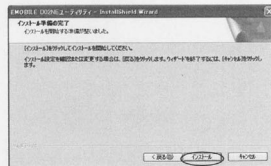
お願い ●使用許諾契約の内容をよくお読みください。

5 セットアップタイプを選択します。通常は[すべて]を選択して、[次へ]をクリックします。



カスタムセットアップでは、ドライバのインストールすることができますが、通常は[すべて]を選択してください。

6 [インストール]をクリックして、ドライバとユーティリティのインストールを開始します。




ページ数

24

操作手順




■お願い・注意事項について

お願い	正しく取り扱っていただくための注意事項・お願いです。
	安全や、財産の損害を防ぐために絶対に守っていただくための注意事項・お願いです。








安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための内容を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

表示記号の説明

 危険	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の説明

 禁止	本製品の取り扱いにおける禁止事項（してはいけないこと）を示しています。
 分解禁止	本製品を分解すると感電などの傷害を負うおそれがあるので、分解してはいけないことを示しています。
 濡れ手禁止	本製品を濡れた手で扱うと感電するおそれがあるので、濡れた手で触ってはいけないことを示しています。
 水濡れ禁止	本製品を水に濡らすなどして使用すると漏電による感電や発火のおそれがあるので、水に濡らしてはいけないことを示しています。
 風呂、シャワー室での使用禁止	本製品を風呂、シャワー室で使用すると漏電による感電や発火のおそれがあるので、風呂、シャワー室で使用してはいけないことを示しています。
 指示	本製品の取り扱いにおける指示事項（必ず実行していただくこと）を示しています。
 電源プラグをコンセントから抜く	本製品が動作するパソコンの電源プラグを必ずコンセントから抜いていただくことを示しています。

具体的な内容は図記号とともに文章で示します。

安全上のご注意

危険



分解、改造をしないでください。

発熱、発火、感電や故障の原因となります。なお本製品の改造は電波法違反になります。



強い日光や熱風が直接当たる所、暖房器具のそばなど、高温になる所での使用、放置をしないでください。

発熱、発火、機器の変形、変色や故障の原因となります。

また本製品が高温になり、やけどの原因になる可能性があります。



濡れた手で触らないでください。

感電や故障の原因となります。



浴室などで使用したり、水の中につけたりしないでください。



発熱、発火、感電や故障の原因となります。



コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。

液体がこぼれて濡れると、発熱、故障の原因となります。



強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

発熱、発火、破裂、故障、本人や他の人のけがの原因となります。

警告



電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れてください。

発熱、発火や故障の原因となります。



すき間から異物を入れないでください。

発熱、発火、感電や故障の原因となります。



ガソリンスタンドなど引火、爆発のおそれがある場所では、使用しないでください。

爆発や火災の原因となります。



煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態には、すぐに本製品をパソコンから取り外し、パソコンの電源を切ってください。

そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因となります。すぐに本製品をパソコンから取り外し、パソコンの電源を切ってください。煙が出なくなったことを確認してご契約先の窓口などへご連絡ください。



内部に水などがいった場合には、すぐに本製品をパソコンから取り外し、パソコンの電源を切ってください。

そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因となります。すぐに本製品をパソコンから取り外し、パソコンの電源を切り、ご契約先の窓口などへご連絡ください。



落雷のおそれがあるときは、パソコンの電源を切り、電源プラグを抜いてください。落雷、感電、発火の原因となります。また屋外の場合は安全な場所へ移動してください。



長時間使用しない場合、本製品をパソコンから取り外してください。

感電、火災、故障の原因となります。



必ず専用の機器をご使用ください。

指定以外の機器を使用すると、発熱、発火、破裂、故障の原因となります。



車両の運転中に本製品を使用しないでください。

交通事故の原因となります。



航空機内や病院など、使用を禁止されている場所では使用しないでください。

電子機器や医療機器に影響を及ぼすおそれがあり、事故の原因となります。



高精度な電子機器の近くでは使用しないでください。

電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。

※影響を受けるおそれがある機器の例：

心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知器・自動ドアなど。

医用電気機器を使用される場合は電波による影響について、機器メーカーまたは販売業者に確認してください。

以下に記載する4項目は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」（電波環境協議会／平成9年4月）に準拠しています。



植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部位から22cm以上離して携帯および使用してください。

電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。



満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、パソコンの電源を切り、本製品の使用を控えてください。

電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。



医療機関の屋内では以下のことを守って使用してください。

●手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本製品を持ち込まないでください。

●病棟内では、パソコンの電源を切り、本製品を使用しないでください。

●ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、パソコンの電源を切り、本製品を使用しないでください。

●医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

安全上のご注意



自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波の影響で、電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。



注意



小さなお子さまの手の届かない場所に保管してください。

事故やけがなどの原因となります。



お子さまが使用するときは、取扱いに問題がないことを保護者が確認してください。

EM chipを飲み込む、アンテナで目を突く、感電するなどの事故やけがの原因となります。



自動車の電子機器に影響が出る場合は使用しないでください。

自動車が安全に走行できなくなるおそれがあります。



ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

落下して、けがや故障の原因となります。



本製品、EM chipに無理な力を加えないでください。

故障、けがの原因となります。



人が密集している場所では、使用しないでください。

アンテナなどでけがをするおそれがあります。



アンテナが壊れたままで、使用しないでください。

触ったときにやけど、けがの原因となります。



アンテナを持って振り回さないでください。

本人や他の人にけがをさせる原因となります。また故障の原因となります。



皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用を止め、医師の診断を受けてください。
お客さまの体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じる場合があります。

本製品に使用された材料や表面処理は以下に記載したとおりです。

	使用箇所	使用材料・表面処理
製品本体	アンテナ	ポリエステルエラストマー樹脂、変性PPE樹脂、POM樹脂、シリコンゴム、亜鉛ダイキャスト/ニッケルメッキ、銅/ニッケルメッキ
	外装ケース	PC+ABS樹脂、ステンレス
	EM chip取り付けトレイ	PC+ABS樹脂
	ラベル	PET樹脂
	PCカードコネクタ	LCP樹脂
	ネジ	鉄鋼材/三価クロメートメッキ
	RFコネクタカバー	ポリエステルエラストマー樹脂
収納ケース	収納ケース本体	PP樹脂
CD-ROM	CD-ROM本体	PC樹脂
	包装袋	PP樹脂



注意 <EM chipに関する注意>



小さなお子さまの手の届かない場所に保管してください。
EM chipを間違えて飲み込むなど、事故やけがの原因となります。



EM chipを本製品へ取り付けるときや取り外すときに注意してください。
必要以上の力を掛けると、手や指を傷つけたり、EM chipの破損の原因となります。



曲げたり、濡らしたり、重い物の下敷きにししないでください。
変形するなど、故障の原因となります。



他社製品のICカードリーダーなどにEM chipを取り付けしないでください。
故障の原因となります。故障した場合、お客さまの責任となり、当社では一切の責任を負いません。



EM chipの金属部を傷つけたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失や故障の原因となります。



EM chipは本来の用途とかけ離れた方法で使用しないでください。
データの消失や故障の原因となります。



電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れないでください。
発熱、発火や故障の原因となります。



火のそばやストーブのそばなどで使用したり放置しないでください。
データの消失や、変形や溶解などの故障の原因となります。

取扱上のご注意

本表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できない、もしくは機能停止を招く内容を示していますので、必ずお守りください。

注意



水濡れさせないでください。

本製品は防水仕様ではありません。浴室や加湿器のそばといった多湿環境や、雨が降りかかる環境下では使用しないでください。また洗濯機で洗わないでください。故障の原因が水濡れであると判明した場合、保証の対象外となります。



エアコン吹出口の近くなどで使用しないでください。

温度が急激に変化することにより結露が発生して、故障の原因となります。



湿った衣類のポケットに入れて持ち運ばないでください。

衣類のポケットにこもる汗などの湿気が故障の原因となります。



次のような極端な温度環境での使用は避けてください。

- 直射日光の当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなど、特に温度が上がる場所。
- 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。



テレビ、ラジオ、携帯電話機など電磁波が発生する物の近くで使用しないでください。

お互いに影響を受ける場合がありますので、なるべく離れて使用してください。



落としたり強い衝撃を与えたり曲げたりしないでください。

落としたり、かばんの中で重い物の下敷きにしたり、変な持ち方をして曲げるなど、無理な力を加えないでください。故障の原因となります。この場合、保証の対象外となります。



移動するときは、本製品をパソコンから取り外してください。

パソコンに取り付けたまま持ち運びをすると、コネクタなどに誤って衝撃が掛かり、故障の原因となります。



ほこりや湿気の少ない場所に保管してください。

故障の原因となります。



使用しないときは、付属のケースに入れて保管してください。

ほこりなどにより本製品の端子が汚れると、パソコンと接触できないことがあります。



汚れたり水滴が付いたりしたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

ベンジン、シンナー、洗剤などを用いると、外装や印刷が変質することがあります。



本製品が熱くなることがありますが手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。

そのままお使い下さい。ただし、長時間触れたまま使用していると低温やけどになるおそれがあります。取り外すときに熱い場合は、本製品の側面を持って取り外してください。



パソコンの電池残量が不足していないことを確認して使用してください。
電池が不足していると動作が不安定になります。充電するなどして使用してください。



当社のEM chipを使用してください。

EM chipを使用しないと本製品は動作しません。また他社ICカードを使用した場合、データ消失や故障の原因となります。故障した場合、お客さまの責任となり、当社では一切の責任を負いません。



EM chipの金属端子部分は汚さないでください。

故障の原因となります。汚れたときは柔らかい布などで拭き取ってください。



クレジットカードなどと本製品を近づけないでください。

クレジットカードなどの磁気カードのデータが消失するおそれがあります。



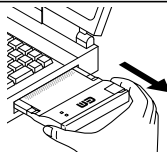
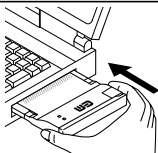
本製品をパソコンに取り付けるときは、正しい方向に無理なく取り付けてください。

逆方向に取り付けたり、違和感がある状態で取り付けると、故障の原因となります。



アンテナ部分を持って取り付け・取り外しを行わないでください。

無理な力を加えると、故障の原因となります。



お願い

弊社では動作環境を満たすメーカー出荷状態のパソコンに対して、正常に動作することを確認しています。しかし周辺機器の増設やインストールされているアプリケーションの固有の設定などの影響により、本製品が正常に動作しない可能性があります。お客さまの環境で必ず正常動作することを保証するものではありません。

免責事項について

- 火災および地震などの災害、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、通信などの機会を逃したために生じた損害、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

INDEX

はじめに	1
動作環境（対応OS）	1
ご利用いただくにあたって	1
取扱説明書の使い方	2
安全上のご注意	3
取扱上のご注意	8
INDEX	10
1 お使いになる前に	11
梱包品を確認してください	12
各部の名称と機能	13
利用できる通信方式について	16
EM chipを準備してください	17
PINコード・PINロック解除コードについて	19
2 セットアップから通信まで	21
セットアップする	22
本製品を使用する	41
3 その他の操作	45
EMOBILE D02NE ユーティリティについて	46
省電力モードを解除する方法	72
ATコマンドについて	73
4 こんな時は	75
故障かな？と思ったら	76
5 付録	79
用語集	80
索引	82
主な仕様	83
保証とアフターサービス	84

1 お使いになる前に

1

梱包品を確認してください	12
各部の名前と機能	13
ランプ表示の見方	14
アンテナについて	15
ご注意	15
利用できる通信方式について	16
EM chipを準備してください	17
EM chipの取り付けかた	17
EM chipの取り外しかた	18
PINコード・PINロック解除コードについて	19

7 お使いになる前に

梱包品を確認してください

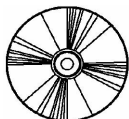
お買い上げいただいた商品には下記のものが入っています。お使いになる前に確認してください。万一、不足していた場合には、ご契約先の窓口にお問い合わせください。

■本体



□D02NE本体 (1個)

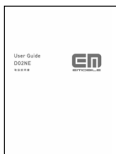
■付属品



□D02NE用CD-ROM (1枚)



□収納ケース (1個) 持ち運びには収納ケースの利用をお勧めします。



□取扱説明書 (本書)



□かんたんセットアップマニュアル (1部)



□保証書 (1部)

CD-ROM構成内容	概要
EMOBILE D02NE インストール	ユーティリティとドライバをセットアップする
EMOBILE D02NE ユーティリティ	本製品を簡単に使うためのアプリケーション (インストーラーからセットアップします)
EMOBILE D02NE ドライバ	本製品をパソコンで利用するための設定ファイル
取扱説明書	本書と同内容
ATコマンドリファレンス	ATコマンド一覧を記載
Windows Vista/パソコンへのセットアップ	本製品をWindows Vista/パソコンで使うための方法を記載

お願い ●保証書を含め付属品は大切に保管してください。

CD-ROMの保管、取扱上の注意

1. ディスクは両面とも、指紋、汚れ、キズなどを付けないようにお取り扱いください。
2. ディスクが汚れたときは、メガネ拭きのような柔らかい布で内側から外側に向かって放射状に軽く拭き取ってください。レコード用クリーナーや溶剤などは使用しないでください。
3. ディスクは両面とも、鉛筆、ボールペン、油性ペンなどで文字や絵を書いたり、シールなどを貼らないでください。
4. ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは危険ですから絶対に使用しないでください。
5. 直射日光のあたる場所や、高温・多湿の場所には放置しないでください。
6. ディスクは使用後、元のケースに入れて保管してください。

著作権、免責事項について

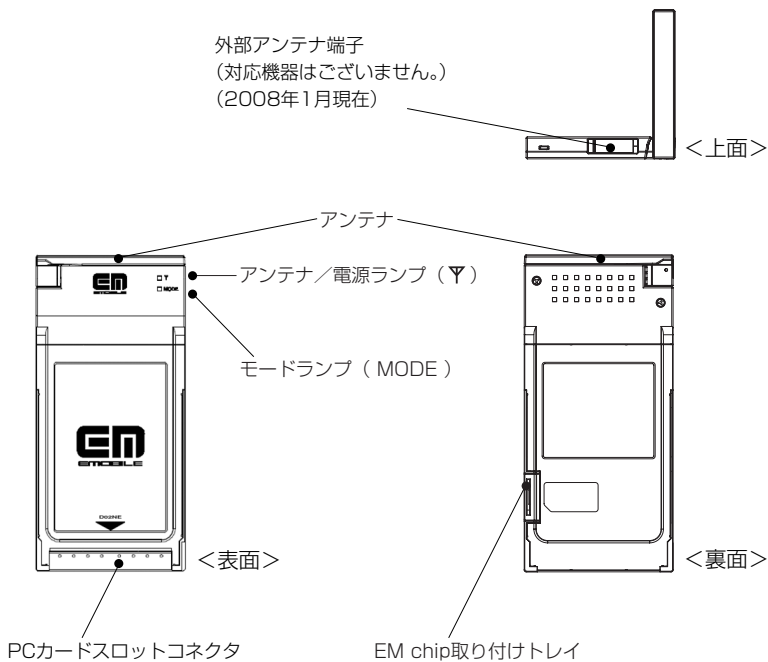
- ・本CD-ROMに収録されたソフトウェアおよびデータは、著作権法により保護されています。それぞれの著作および著作権は、各プログラムまたは付属のドキュメントに記載されている通りです。
- ・本CD-ROMのご使用にあたっては、セットアップの際に表示される「使用許諾契約」をよくお読みください。

各部の名称と機能

D02NE

お使いになる前に

1







7 お使いになる前に

ランプ表示の見方

本製品では、電波の強さ、通信状態、異常状態の情報を、2つのランプ表示でお知らせします。

アンテナ／電源ランプ

サービス圏内の電波状態や異常状態などを8パターン表示でお知らせします。

アンテナ／電源ランプ	電波状態／異常状態	
緑点灯	 安定した通信ができます。	
緑点滅 (長い点灯⇔短い消灯)	 通信できます。電波の強さを3段階の点滅でお知らせします。電波が弱くなるほど、ランプの点灯している時間が短くなり、通信が不安定になります。	
緑点滅 (同じ間隔で点灯⇔消灯)		
緑点滅 (短い点灯⇔長い消灯)		
赤点灯	圏外です。	
消灯	スリープ状態です。	
橙点滅	次のいずれかの状態です。 1. PINコード入力待ち。 2. PINロック解除コード入力待ち。	
赤点滅	次のいずれかの状態です。 1. EM chip未挿入。 2. EM chip完全ロック状態。 3. その他の異常状態。	

モードランプ

本製品の通信状態をお知らせします。

モードランプ	通信状態
緑点滅	発信中
緑点灯	通信中
消灯	通信待機状態

本製品のユーティリティでも状態を確認することができます。(→50ページ)

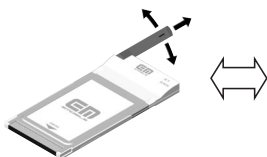
お願い ●本製品は初期設定では省電力モードに設定されているため、本製品とパソコンの間でしばらく通信がないとランプが消灯します。省電力モードを解除するためには、72ページをご覧ください。

アンテナについて

持ち運ぶときは



通信するときは



- お願い**
- 性能を最大限に発揮させるため、通信するときはアンテナをまっすぐ立てた状態で使用することをお勧めします。
 - アンテナに無理な力を加えないでください。
 - 本製品をパソコンに取り付けたまま持ち運びをしないでください。
 - アンテナを引っ張りながらパソコンから取り外すことはしないでください。
 - アンテナを持って本製品を振り回さないでください。

ご注意

スタンバイ、(サスペンド、レジューム)または休止 (ハイバネーション)機能を搭載した機器に、本製品を取り付けたままスタンバイ、(サスペンド、レジューム)または休止 (ハイバネーション)を行うと正常に動作しない場合があります。必ず本製品を取り外してから、スタンバイ (サスペンド/レジューム)または休止 (ハイバネーション)を行ってください。

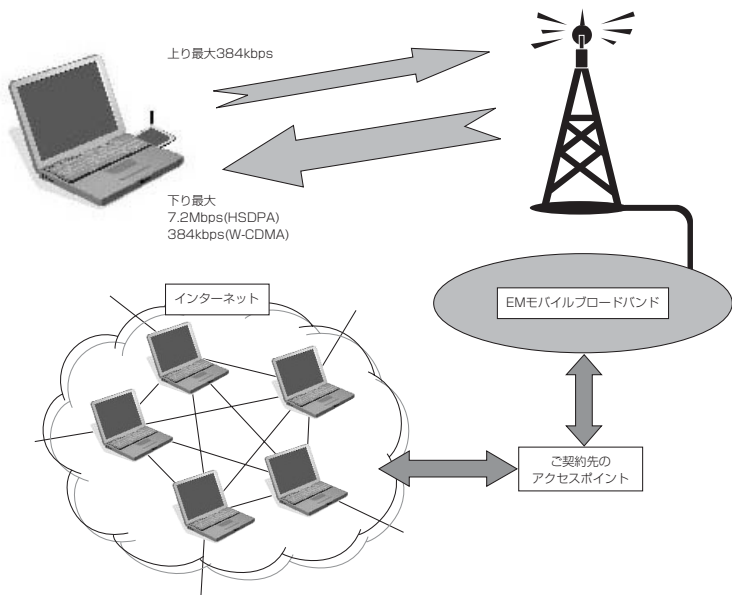
また、本製品を取り付けた状態で電源の投入や再起動を行うと正常に動作しない場合があります。パソコンを起動する前に本製品を取り外してください。

また、カードの取り外しを行う際はユーティリティからの取り外し、またはタスクトレイからの取り外しをしないとパソコンが正常動作しない場合があります。

7 お使いになる前に

利用できる通信方式について

本製品は下り最大7.2Mbpsの packet 通信（ベストエフォート方式）をサポートしています。データ通信を行う際は、EMモバイルブロードバンドに対応したアクセスポイントを利用してください。



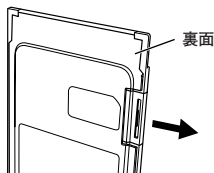
お願い ●ベストエフォート方式のため、データ通信速度が7.2Mbpsまで出ないことがあります。本製品のユーティリティでは概算の packet 数量および通信料金を確認できます。参考値としてご利用ください。

EM chipを準備してください

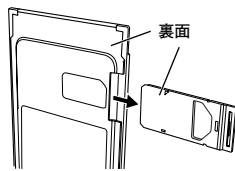
本製品をご利用されるお客さまに貸与されているICカードのことをEM chip（エムチップ）といい、お客さまの電話番号などの情報が記録されています。本製品を使用するためにはEM chipを本製品に取り付けてください。EM chipを取り付けていない本製品をパソコンに取り付けても、データ通信は一切できません。また使用中にEM chipを取り外すことはできません。EM chip台紙に記載されている取扱説明も参照してください。

EM chipの取り付けかた

- 1** EM chip取り付けトレイを矢印方向に引きます。軽く止まる場所がありますが、さらに引き本製品より引き抜きます。

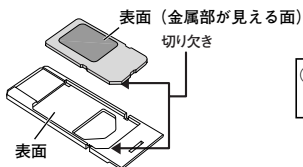


EM chip取り付けトレイが閉じた状態

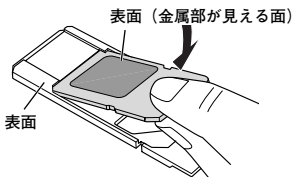


EM chip取り付けトレイが開いた状態

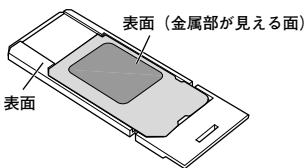
- 2** EM chipをトレイに取り付けます。



①EM chipの金属部を上向きにし、トレイの切り欠き部を合わせてください。



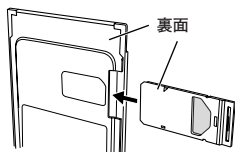
②EM chipをトレイ奥のツメに合わせてください。



③EM chipをトレイ手前のツメに合わせて、カチッと音がするように取り付けてください。

7 お使いになる前に

- 3 EM chip取り付けトレイを裏面を手前にして本製品の奥まで差し込みます。

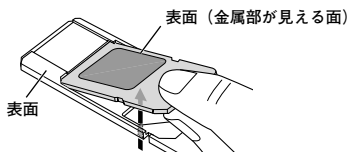


電話番号などのデータを読み込むためにEM chipは正しく取り付けてください。

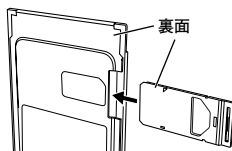
EM chipの取り外しかた

- 1 取り付けと同じ手順で、EM chip取り付けトレイを矢印方向に引き抜きます。

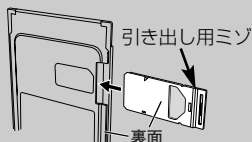
- 2 EM chipをトレイの下から押し上げて取り外します。



- 3 EM chip取り付けトレイを裏面を手前にして本製品の奥まで差し込みます。



- お願い**
- 無理に取り付けようとししないでください。EM chipが破損することがあります。
 - EM chipの取り付け/取り外しの際に、金属端子部分に触れたり、傷を付けたりしないでください。
 - EM chipの金属端子部分が汚れたときは柔らかい布などで拭き取ってください。
 - EM chipの紛失や、小さいお子さまがEM chipを誤って飲みこまないよう注意してください。



裏面を手前にした状態で、注意して挿入してください。

PINコード・PINロック解除コードについて

PINコード（暗証番号）

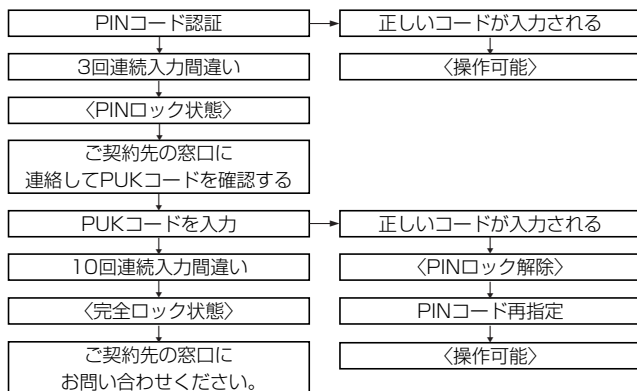
EM chipは他人の無断使用を防ぐ目的として「PINコード」という暗証番号を持っています。本製品のご購入時には「9999」で設定されています。お客さまはユーティリティを利用してこの番号を変更することができます。変更する場合は64ページを参照してください。

PINロック解除コード（PUKコード）

「PINコード」の入力を3回連続して誤った場合、それ以降「PINコード」の入力を受け付けなくなります。この状態をPINロックの状態といいます。この状態になりましたら「PINロック解除コード（PUKコード）」を入力してPINロックを解除し、そのあとに「PINコード」の再指定が必要となります。「PINロック解除コード（PUKコード）」はご契約先の窓口までお問い合わせください。

また「PINロック解除コード（PUKコード）」の入力を10回連続して誤った場合、それ以降PINロック解除コードも受け付けられない完全ロックの状態になります。完全ロック状態になった場合も、ご契約先の窓口までお問い合わせください。

PINコードとPINロック解除コードとの関係について



- お願い**
- 無断使用防止のため、PINコードは設定しなすことを勧めます。ただし他人にわかりやすい番号は避けてください。
 - PINコード・PINロック解除コード（PUKコード）はメモを取るなどして忘れないようにしてください。
 - EM chipの取り付け／取り外しの際に、金属端子部分に触れたり、傷を付けたりしないでください。
 - EM chipの紛失に注意してください。

2 セットアップから通信まで

セットアップする	22
Windows XPのパソコンへのセットアップ	23
Windows 2000のパソコンへのセットアップ	32
本製品を使用する	41
インターネットに接続する	41
インターネットの接続を切る	43
本製品をパソコンから取り外す	44

2 セットアップから通信まで

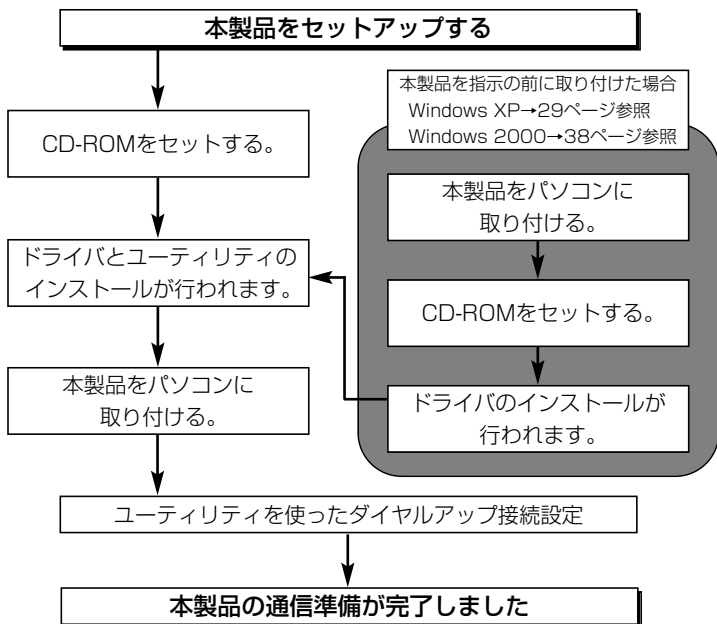
セットアップする

本製品を使ってデータ通信を行うには、初回のみ、お使いのパソコンで本製品を使えるようにセットアップする必要があります。セットアップが完了すると、それ以降はすぐにデータ通信できます。本書ではデータ通信ができるようになるまでを説明します。なおセットアップを行う途中で指示があるまで本製品をパソコンに取り付けしないでください。指示の前に取り付けてもセットアップはできませんが手順が長くなります。

■セットアップ環境

メモリ	Windows XP : 推奨512MB以上 (256MB以上必要) Windows 2000 : 推奨256MB以上 (128MB以上必要)
ハードディスク	20MB以上の空き容量が必要

- お願い
- 管理者 (Administrator) 権限のユーザーでログインしてください。
 - 指示があるまで本製品をパソコンに取り付けしないでください。
 - Windows Vistaについては、同梱のWindows Vistaセットアップマニュアルを参照してください。



Windows XPのパソコンへのセットアップ

- 1 パソコンの電源をONにして、お使いのパソコン/OSを起動します。
管理者 (Administrator) 権限のユーザーでログインしてください。(管理者権限でログインしているのが調べるには78ページを参照してください)
- 2 付属のCD-ROMをCDドライブにセットします。
自動的にドライブとユーティリティのインストールが始まり、下記の様な画面が表示されます。



画面が表示されない場合は、マイコンピュータの画面などから[CD-ROM]¥UTILITY¥Setup.exeをダブルクリックして実行してください。

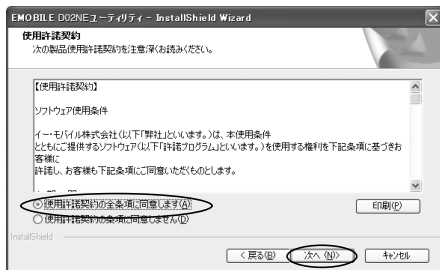
お願い ● 操作手順では、アイコンなどを「ダブルクリックで開く」ように設定されていることを前提にして説明しています。「シングルクリックで開く」ように設定されている場合は、「ダブルクリック」を「クリック」と読み替えて操作してください。

- 3 下記の画面が表示されるので[次へ]をクリックします。



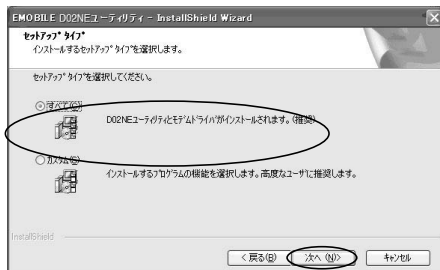
2 セットアップから通信まで

4 使用許諾契約の画面が表示されるので、同意される場合は[次へ]をクリックします。



お願い ● 使用許諾契約の内容をよくお読みください。

5 セットアップタイプを選択します。通常は[すべて]を選択して、[次へ]をクリックします。

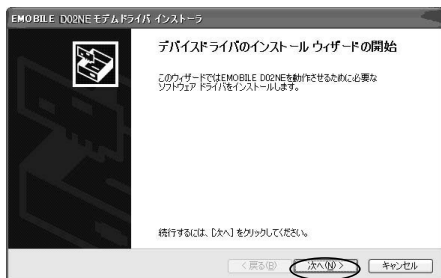


カスタムセットアップでは、ドライバのみインストールすることができませんが、通常は[すべて]を選択してください。

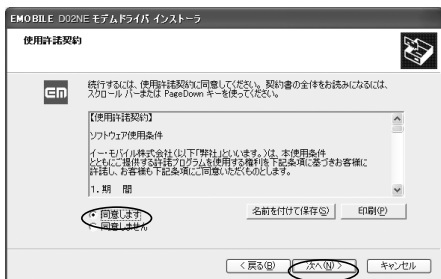
6 [インストール]をクリックして、ドライバとユーティリティのインストールを開始します。



- 7 「EMOBILE D02NE モデムドライバ インストーラ」の画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

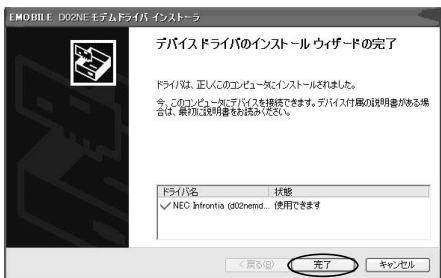


- 8 使用許諾契約の画面が表示されるので、同意される場合は[次へ]をクリックします。



お願い ●使用許諾契約の内容をよくお読みください。

- 9 「デバイスドライバのインストールウィザードの完了」の画面が表示されたら、[完了]をクリックします。



2 セットアップから通信まで

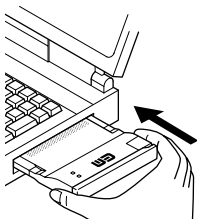
- 10 「InstallShield Wizard の完了」の画面が表示されたら、[完了]をクリックしてパソコンを再起動します。



これでドライバとユーティリティのインストールが完了しました。

- 11 パソコンが起動したら、本製品をパソコンに取り付けます。

本製品は、パソコンのPCカードスロットに取り付けて使用します。パソコンによっては操作方法が異なることがありますので、お使いのパソコンの取扱説明書も、あわせてご覧ください。(既にパソコンに取り付けてある場合は次へ進んでください。)



ロゴがある面を上にして、奥までしっかり差し込んでください。

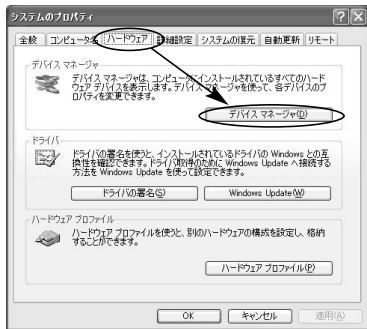
- お願い**
- アンテナ部分を持って取り付け・取り外しを行わないでください。無理な力を加えると、故障の原因となります。
 - 本製品を取り外すときはあらかじめパソコンの電源を切るか、本製品の動作を停止させる操作が必要です。操作方法については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

- 12 自動的に「新しいハードウェアが見つかりました」と表示されるので、表示が消えるまでしばらくお待ちください。

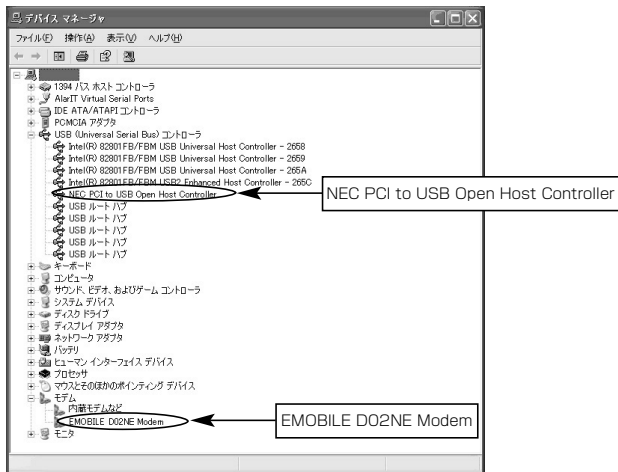


そのまましばらく待つと本製品のセットアップは自動的に完了します。これで本製品はWindows XPのパソコンにセットアップされました。

- 13 マイコンピュータを右クリックして[プロパティ]を選択して「システムのプロパティ」画面を表示させます。その画面で[ハードウェア]タブをクリックして、[デバイスマネージャ]をクリックします。



- 14 「デバイスマネージャ」の画面が表示されたら、[USB (Universal Serial Bus) コントローラ]の[+]をクリックします。同様に[モデム]の[+]をクリックします。




USB (Universal Serial Bus) コントローラに「NEC PCI to USB Open Host Controller」が表示され、モデムに「EMOBILE D02NE Modem」が表示されていれば、セットアップは正しく完了しています。

2 セットアップから通信まで

- 15 [スタート]メニューから、[すべてのプログラム]→[EMOBILE D02NE ユーティリティ]と選択して、[EMOBILE D02NE ユーティリティ]をクリックして、ユーティリティを起動します。

またはデスクトップに作成されたショートカットをクリックしてユーティリティを起動してください。ユーティリティを使用してインターネットの接続設定を行います。ユーティリティ機能詳細については46ページ以降をご覧ください。



お願い ●ユーティリティの動作がおかしいときは、本製品を取り外した後で、再び取り付けてください。取り外しかたは、画面右下のをクリックして、「NEC PCI to USB Open Host Controller を安全に取り外します」をクリックしてください。

- 16 **ダイヤルアップ接続の設定をします。**

初期設定では接続先「emb.ne.jp」になっています。これはイー・モバイルが提供するインターネット接続サービスの接続先となっており、そのままご利用の場合は特に設定の必要はありません。他社のインターネット接続サービスを利用する場合には「④-1. ダイヤルアップ接続先 (APN) を編集する」(→55ページ)を参照して設定を変更してください。



これで本製品の通信準備が完了しました。引き続き、本製品の使用方法について41ページ以降をご覧ください。

本製品を指示の前に取り付けてしまった場合

- 1 自動的に「新しいハードウェアが見つかりました」と表示されるので、表示が消えるまでしばらくお待ちください。



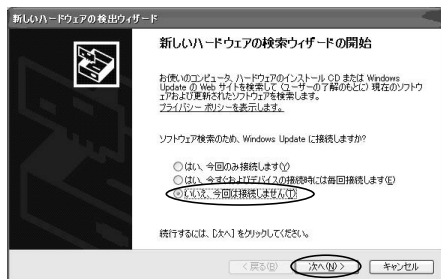
- 2 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」の画面が表示されたら、付属のCD-ROMをCDドライブにセットします。

自動的にドライバとユーティリティのインストールが始まり、下記の様な画面が表示されるので[キャンセル]をクリックします。



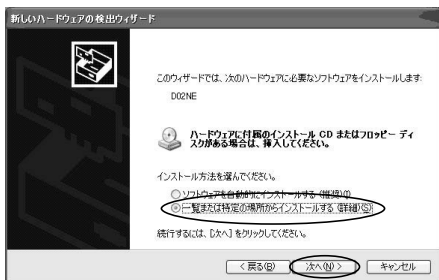
- 3 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」の画面上で、[いいえ、今回は接続しません]を選択して[次へ]をクリックします。

この画面が表示されない場合は、そのまましばらく待つと本製品のセットアップは自動的に完了します。7へお進みください。

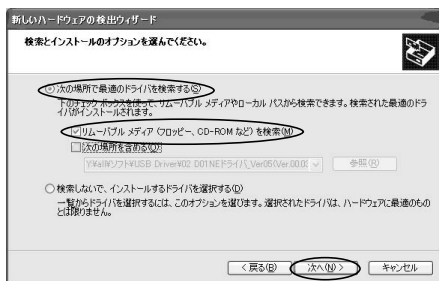


2 セットアップから通信まで

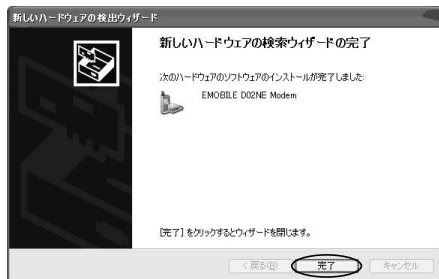
- 4 [一覧または特定の場所からインストールする (詳細)] を選択して [次へ] をクリックします。



- 5 [次の場所で最適なドライブを検索する] を選択して [リムーバブルメディア (フロッピー、CD-ROMなど) を検索] にチェックを入れて、[次へ] をクリックします。

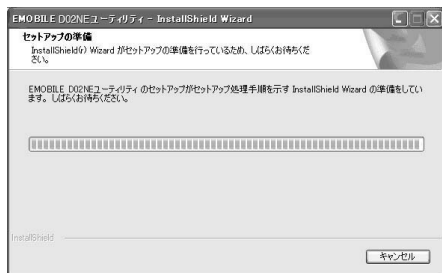


- 6 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」の画面が表示されたら、[完了] をクリックします。



7 マイコンピュータの画面などから[CD-ROM]¥UTILITY¥Setup.exeをダブルクリックします。

自動的に下記のような画面が表示され、ユーティリティのインストール、およびドライバの上書きインストールが始まります。

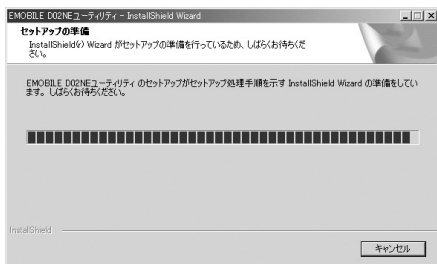


この後は23ページの**3**以降を参照して、セットアップを完了してください。

2 セットアップから通信まで

Windows 2000のパソコンへのセットアップ

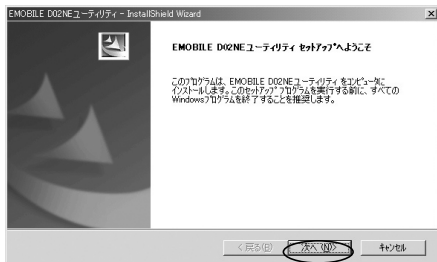
- 1 パソコンの電源をONにして、お使いのパソコン/OSを起動します。
管理者 (Administrator) 権限のユーザーでログインしてください。(管理者権限でログインしているのか調べるには78ページを参照してください。)
- 2 付属のCD-ROMをCDドライブにセットします。
自動的にドライバとユーティリティのインストールが始まり、下記の様な画面が表示されます。



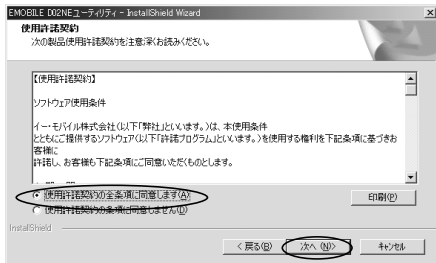
画面が表示されない場合は、マイコンピュータの画面などから[CD-ROM]¥UTILITY# Setup.exeをダブルクリックして実行してください。

お願い ● 操作手順では、アイコンなどを「ダブルクリックで開く」ように設定されていることを前提として説明しています。「シングルクリックで開く」ように設定されている場合は、「ダブルクリック」を「クリック」と読み替えて操作してください。

- 3 下記の画面が表示されるので[次へ]をクリックします。

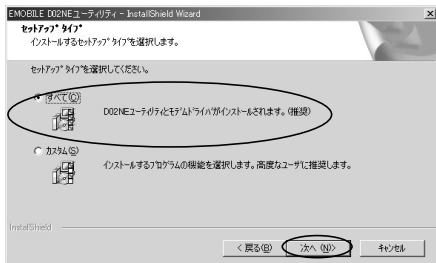


4 使用許諾契約の画面が表示されるので、同意される場合は[次へ]をクリックします。



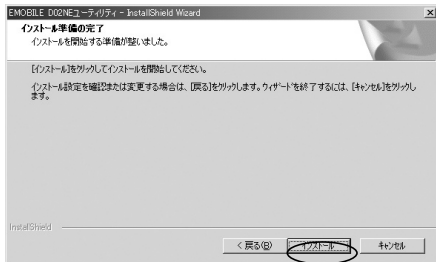
お願い ● 使用許諾契約の内容をよくお読みください。

5 セットアップタイプを選択します。通常は[すべて]を選択して、[次へ]をクリックします。



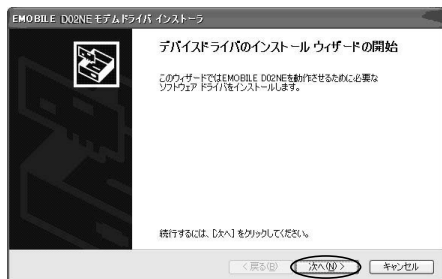
カスタムセットアップでは、ドライバのみインストールすることができますが、通常は[すべて]を選択してください。

6 [インストール]をクリックして、ドライバとユーティリティのインストールを開始します。

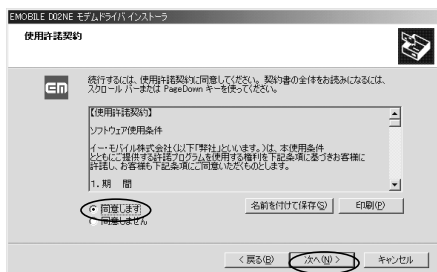


2 セットアップから通信まで

- 7 「EMOBILE D02NE モデムドライバ インストーラ」の画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

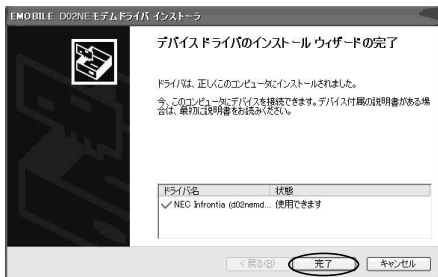


- 8 使用許諾契約の画面が表示されるので、同意される場合は[次へ]をクリックします。



お願い ●使用許諾契約の内容をよくお読みください。

- 9 「デバイスドライバのインストールウィザードの完了」の画面が表示されたら、[完了]をクリックします。



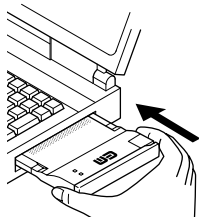
- 10 「InstallShield Wizard の完了」の画面が表示されたら、[完了]をクリックしてパソコンを再起動します。



これでドライバとユーティリティのインストールが完了しました。

- 11 パソコンが起動したら、本製品をパソコンに取り付けます。

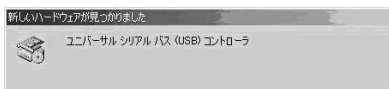
本製品は、パソコンのPCカードスロットに取り付けて使用します。パソコンによっては操作方法が異なることがありますので、お使いのパソコンの取扱説明書も、あわせてご覧ください。



ロゴがある面を上にして、奥までしっかり差し込んでください。

- お願い**
- アンテナ部分を持って取り付け・取り外しを行わないでください。無理な力を加えると、故障の原因となります。
 - 本製品を取り外すときはあらかじめパソコンの電源を切るか、本製品の動作を停止させる操作が必要です。操作方法については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

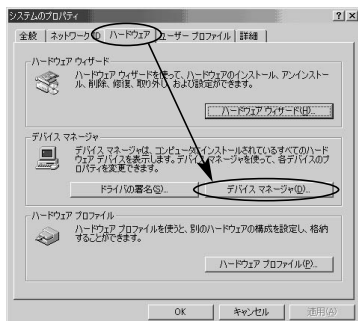
- 12 自動的に「新しいハードウェアが見つかりました」と表示されるので、表示が消えるまでしばらくお待ちください。



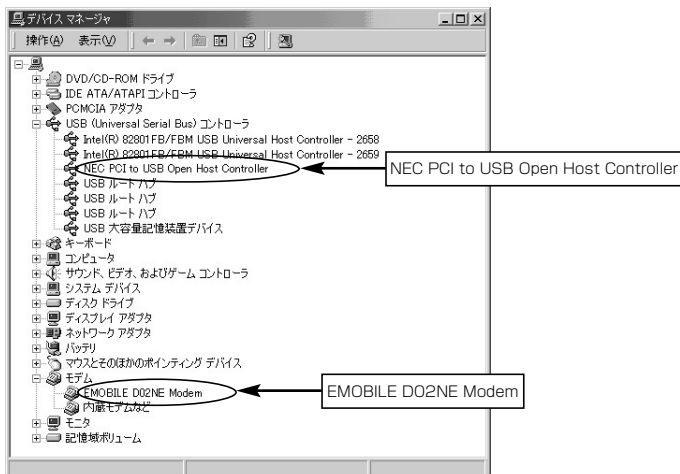
そのまましばらく待つと本製品のセットアップは自動的に完了します。これで本製品はWindows 2000のパソコンにセットアップされました。

2 セットアップから通信まで

- 13 マイコンピュータを右クリックして[プロパティ]を選択して「システムのプロパティ」画面を表示させます。その画面で[ハードウェア]タブをクリックして、[デバイスマネージャ]をクリックします。



- 14 「デバイスマネージャ」の画面が表示されたら、[USB (Universal Serial Bus) コントローラ]の[+]をクリックします。同様に[モデム]の[+]をクリックします。




USB (Universal Serial Bus) コントローラに「NEC PCI to USB Open Host Controller」が表示され、モデムに「EMOBILE DO2NE Modem」が表示されていれば、セットアップは正しく完了しています。

15 [スタート]メニューから、[すべてのプログラム]→[EMOBILE D02NE ユーティリティ]と選択して、[EMOBILE D02NE ユーティリティ]をクリックして、ユーティリティを起動します。

またはデスクトップに作成されたショートカットをクリックしてユーティリティを起動してください。ユーティリティを使用してインターネットの接続設定を行います。ユーティリティ機能詳細については46ページ以降をご覧ください。



お願い ●ユーティリティの動作がおかしいときは、本製品を取り外した後で、再び取り付けてください。取り外しかたは、画面右下のをクリックして、「NEC PCI to USB Open Host Controller を安全に取り外します」をクリックしてください。

16 ダイヤルアップ接続の設定をします。

初期設定では接続先「emb.ne.jp」になっています。これはイー・モバイルが提供するインターネット接続サービスの接続先となっており、そのままご利用の場合は特に設定の必要はありません。他社のインターネット接続サービスを利用する場合には「④-1. ダイヤルアップ接続先 (APN) を編集する」(→55ページ)を参照して設定を変更してください。



これで本製品の通信準備が完了しました。引き続き、本製品の使用方法について41ページ以降をご覧ください。

2 セットアップから通信まで

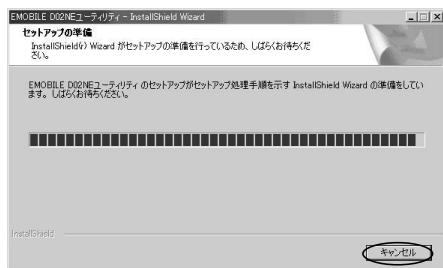
本製品を指示の前に取り付けてしまった場合

- 1 自動的に「新しいハードウェアが見つかりました」と表示されるので、表示が消えるまでしばらくお待ちください。

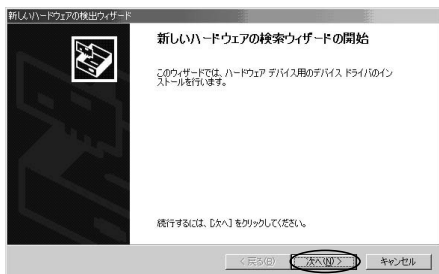


- 2 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」の画面が表示されたら、付属のCD-ROMをCDドライブにセットします。

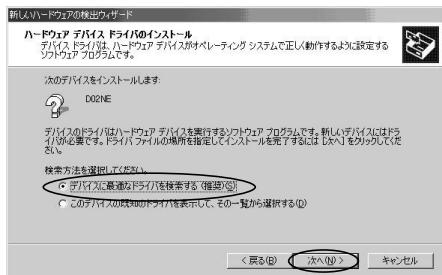
自動的にドライバとユーティリティのインストールが始まり、下記の様な画面が表示されるので[キャンセル]をクリックします。



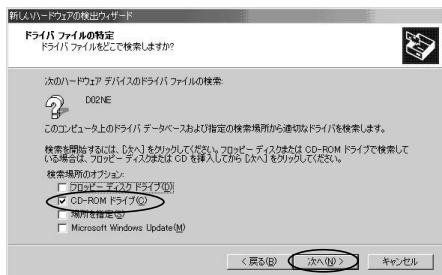
- 3 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」の画面では[次へ]をクリックします。この画面が表示されない場合は、そのまましばらく待つと本製品のセットアップは自動的に完了します。7へお進みください。



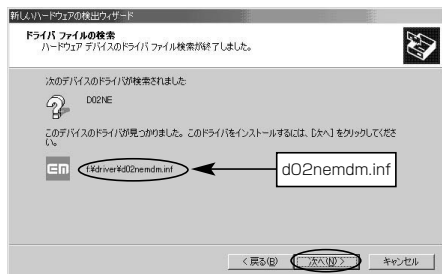
4 [デバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] を選択して [次へ] をクリックします。



5 [CD-ROMドライブ] にチェックを入れて [次へ] をクリックします。

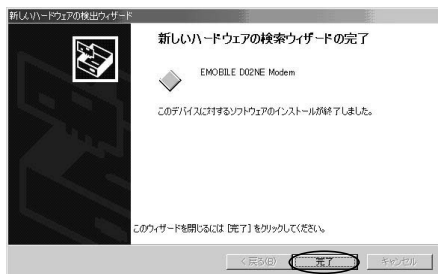


6 「次のデバイスのドライバが検索されました。」の画面が表示されます。検索されたドライバが「d02nemdm.inf」であることを確認して [次へ] をクリックします。



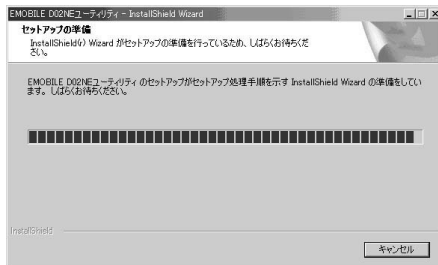
2 セットアップから通信まで

- 7 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」の画面が表示されたら、[完了]をクリックします。



- 8 マイコンピュータの画面などから[CD-ROM]¥UTILITY¥Setup.exeをダブルクリックします。

自動的に下記のような画面が表示され、ユーティリティのインストール、およびドライバの上書きインストールが始まります。



この後は32ページの**3**以降を参照して、セットアップを完了してください。

本製品を使用する

本製品はEMOBILE D02NE ユーティリティとともに使用します。ここではインターネットに簡単に接続するための最小限の説明をします。ユーティリティの詳細な使い方は「EMOBILE D02NE ユーティリティについて」(→46ページ)を参照ください。また、Windows XP・Windows Vista・Windows 2000の画面の表示内容は同じであるため、以降の説明はWindows XPの画面のみで説明します。

インターネットに接続する

1 ユーティリティを起動して、接続先と、電波状態を確認します。



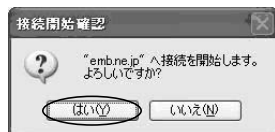
ここではイー・モバイルのインターネット接続サービスを利用するとして説明します。他社のインターネット接続サービスを利用するときは「④-1. ダイヤルアップ接続先 (APN) を編集する」(55ページ)を参照して、「接続先」設定を変更してください。

2 電波状態が $\text{Y} \sim \text{Y}||$ であることを確認したら、[接続]をクリックします。



お願い ●電波状態があまり良くない場所では、本製品をパソコンに取り付けた直後の電波状態の確認にしばらく時間がかかり、「圏外」を表示することがあります。

3 「接続開始確認」の画面が表示されますので、[はい]をクリックします。



2 セットアップから通信まで

- 4 ダイアルアップ接続が開始され「接続しています...」「認証しています...」の画面が表示されます。



接続をキャンセルしたいときは[キャンセル]をクリックしてください。

- 5 接続に成功するとユーティリティが画面右下のタスクトレイに格納されて、「接続完了 接続先: 既定の接続先」の情報が表示されます。




これでインターネットに接続されました。

ブラウザやメールソフト（「Internet Explorer」や「Outlook Express」など）を起動してインターネットが利用できる状態になりました。

お願い ●eメールをご利用になるためのメールアカウントなどの設定方法については、プロバイダの指示に従ってください。

インターネットの接続を切る

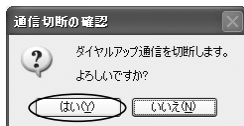
- 1 画面右下のタスクトレイに表示された  を左クリックすると、ユーティリティが表示されます。



- 2 ユーティリティが表示されたら[切断]をクリックします。

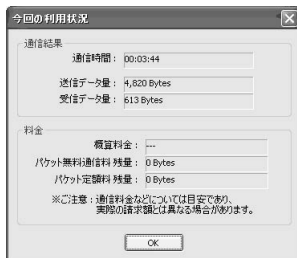


- 3 「通信切断の確認」の画面が表示されますので、[はい]をクリックします。



- 4 切断が完了すると「今回の利用状況」の画面が表示されます。

ただし、通信料金についてはあくまでも目安であり、実際の請求額とは異なることがあります。



これでインターネット接続から切り離されました。

2 セットアップから通信まで


本製品をパソコンから取り外す



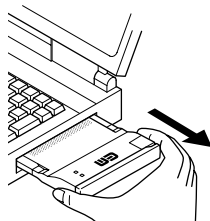
- 必ず下記の手順を守ってください。下記の手順を守らなかった場合、コンピュータのフリーズなどを招くおそれがあります。下記の手順をお守りいただかないで起こった障害に関してはユーザーサポートの対象外とさせていただきます。

ユーティリティの[取り外し]をクリックします。



もしくは画面右下のタスクトレイに表示された  をクリックし、「NEC PCI to USB Open Host Controller を安全に取り外します」を選択してクリックします。

「データカードの取り外しが可能な状態になりました。」もしくは「NEC PCI to USB Open Host Controller は安全に取り外すことができます。」のメッセージが表示されたら、パソコンのイジェクトボタンを押してカードを取り外してください。



- アンテナ部分を持って取り付け・取り外しを行わないでください。無理な力を加えると、故障の原因となります。
- 本製品を取り外すときはあらかじめパソコンの電源を切るか、上記の本製品の動作を停止させる操作を行った後に取り外してください。
- パソコンの内部にあった金属部は熱くなっている事がありますので、すぐに触らないようご注意ください。

3 その他の操作

EMOBILE D02NE ユーティリティについて	46
ユーティリティをインストールする	46
ユーティリティ メイン画面	50
ユーティリティ タスクトレイ画面	51
アイコンの説明	52
ユーティリティ メニュー	53
①ダイヤルアップ接続／切断する	53
②パソコンから取り外す	53
③ユーティリティの動作設定	54
④-1. ダイヤルアップ接続先 (APN) を編集する	55
④-2. 料金プラン設定	58
⑤PINコード認証を有効／無効にする	63
⑥PINコードを変更する	64
⑦ダイヤルアップ通信状態を表示する	65
⑧過去のダイヤルアップ通信の利用履歴を確認する	66
⑨通信結果を集計する	67
⑩カード情報を確認する	68
⑪ユーティリティのヘルプファイルを見る	69
⑫ユーティリティのバージョンを確認する	69
ユーティリティ、ドライバをアンインストールする	70
省電力モードを解除する方法	72
ATコマンドについて	73
ATコマンドを使う	73

3 その他の操作

EMOBILE D02NE ユーティリティについて

EMOBILE D02NE ユーティリティ（以下、ユーティリティ）は、本製品を使うために必要なソフトウェアです。ユーティリティでは次のような本製品の各種設定および動作状態の表示ができます。

- 電波の強さ／接続先／接続時間の表示
- ダイヤルアップの接続／切断／編集、および状態表示
- PINコード認証の設定／PINコードの変更
- 通信履歴、概算通信料金の表示
- 電話番号の確認
- 本製品の取り外し

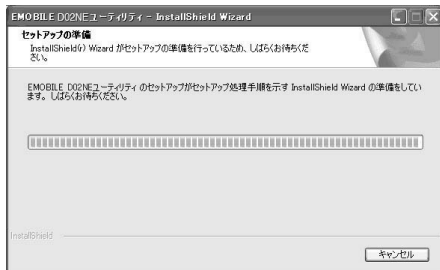
ユーティリティをインストールする

本製品のセットアップを実施している場合、ユーティリティは通常はインストールされています。ユーティリティを削除してしまった場合などにお読みください。

なおインストールはパソコンのAdministrator権限（管理者権限）のユーザーでインストールを行ってください。

1 付属のCD-ROMをCDドライブにセットします。

自動的にインストールが始まり、下記の様な画面が表示されます。

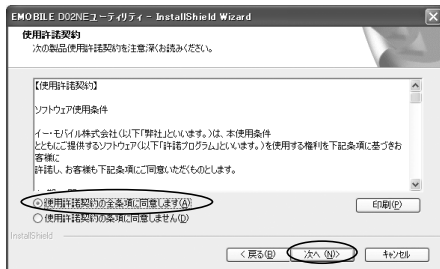


画面が表示されない場合は、マイコンピュータの画面などから[CD-ROM]¥UTILITY¥Setup.exeをダブルクリックして実行してください。

2 下記の画面が表示されるので[次へ]をクリックします。

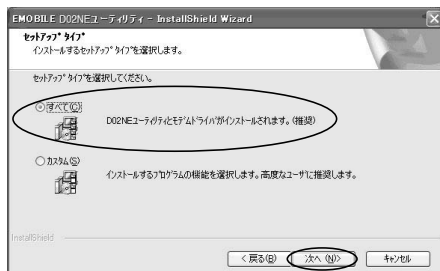


3 使用許諾契約の画面が表示されるので、同意される場合は[次へ]をクリックします。



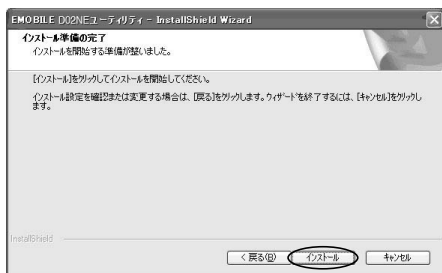
お願い ●使用許諾契約の内容をよくお読みください。

4 セットアップタイプを選択します。[すべて]を選択して、[次へ]をクリックします。

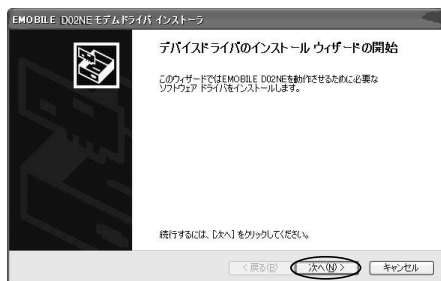


3 その他の操作

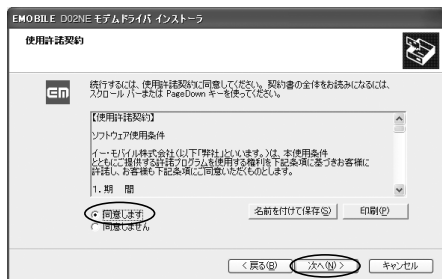
- 5 [インストール]をクリックすると、ドライバとユーティリティのインストールが始まります。



- 6 「EMOBILE D02NE モデムドライバ インストーラ」の画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

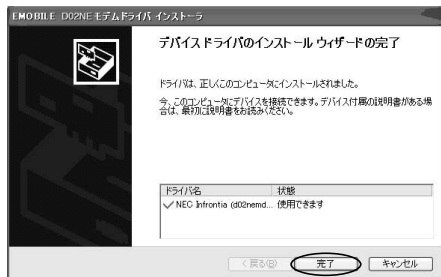


- 7 使用許諾契約の画面が表示されるので、同意される場合は[次へ]をクリックします。



お願い ●使用許諾契約の内容をよくお読みください。

- 8 「デバイスドライバのインストールウィザードの完了」の画面が表示されたら、[完了]をクリックします。



- 9 「InstallShield Wizard の完了」の画面が表示されたら、[完了]をクリックしてパソコンを再起動します。



これでドライバとユーティリティのインストールが完了しました。

- お願い ●デバイスドライバも同時に上書きインストールされます。
●アンインストールするときは、70ページの手順を参照してください。

3 その他の操作

ユーティリティ メイン画面



1. ユーティリティ メニュー

詳細設定変更や本製品の状態表示を行います。

2. 状態表示

電波状態や通信状態などを表示します。

アイコンの意味については「アイコンの説明」を参照してください。

3. 接続先

ダイヤルアップ接続先（APN）を表示します。

4. 接続時間

接続時間を表示します。

5. 送受信データ量

ダイヤルアップ接続中の送受信データの合計を表示します。

6. 接続／切断

ダイヤルアップの接続／切断を行います。

7. 取り外し

本製品をパソコンから安全に取り外します。

ダイヤルアップ接続中は、接続解除の確認が表示されます。

8. 電波状態の確認

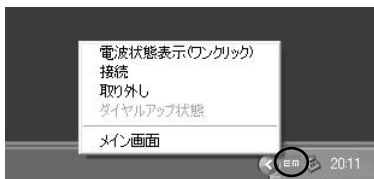
接続していないときにクリックすると数秒間電波状態を表示します。（初期設定は10秒です。この値は10秒～60秒の間で設定できます。また設定により電波状態を表示し続けることもできます。）

電波状態を確認しているときはユーティリティからのみネットワーク接続ができます。（OSのダイヤルアップ機能では接続できません。）

お願い ●電波状態があまり良くない場所では、本製品をパソコンに取り付けた直後の電波状態の確認にしばらく時間がかかり、「圏外」を表示することがあります。

ユーティリティ タスクトレイ画面

タスクトレイ画面では、メイン画面の電波状態・通信状態表示と同様に電波状態表示、ダイヤルアップの接続/切断などが行えます。アイコンの意味はメイン画面のものと同じです。アイコンの意味については「アイコンの説明」を参照してください。



左クリックでメイン画面を表示します。右クリックでタスクトレイメニューを表示します。

タスクトレイメニュー	概 要
電波状態表示(ワンクリック)	メイン画面の「電波状態の確認」ボタンと同じ働きをします。
接続/切断	「①ダイヤルアップ接続/切断する」(→53ページ)と同じ働きをします。
取り外し	「②パソコンから取り外す」(→53ページ)と同じ働きをします。
ダイヤルアップ状態	「⑦ダイヤルアップ通信状態を表示する」(→65ページ)と同じ働きをします。
メイン画面	「ユーティリティ メイン画面」(→50ページ)を表示します。

3 その他の操作

アイコンの説明

メイン画面	タスクトレイ	状態	
		電波状態表示OFF ダイヤルアップ未接続	
		電波状態表示ON ダイヤルアップ未接続	電波状態：圏外
			電波状態：微弱
			電波状態：弱
			電波状態：中
			電波状態：強
		ダイヤルアップ接続中	
		本製品未検出 本製品をパソコンに取り付けてください。	
		PINコード認証キャンセル状態 本製品を一度パソコンから取り外して、再び取り付けてから正しいPINコードを入力するまで使用できません。	
		PINロック状態 本製品を一度パソコンから取り外して、再び取り付けてから正しいPINロック解除コード（PUKコード）を入力するまで使用できません。	
		EM chip完全ロック状態 使用できません。ご契約先の窓口ご連絡してください。	
		EM chip未挿入 EM chipを取り付けてください。	
		EM chipエラー 本製品では使用できないICカードが取り付けられているか、EM chipが壊れています。	

ユーティリティメニュー

メニューからは下記の詳細設定変更や本製品の状態表示などが行えます。

メニューの選択順序	概要
①[カード]→[接続]／[切断]	①ダイヤルアップ接続／切断する (→53ページ)
②[カード]→[取り外し]	②パソコンから取り外す (→53ページ)
③[設定]→[ユーティリティ設定]	③ユーティリティの動作設定 (→54ページ)
④[設定]→[ダイヤルアップ設定]	④-1. ダイヤルアップ接続先 (APN) を編集する (→55ページ)
	④-2. 料金プラン設定 (→58ページ)
⑤[設定]→[PIN有効／無効]	⑤PINコード認証を有効／無効にする (→63ページ)
⑥[設定]→[PINコード変更]	⑥PINコードを変更する (→64ページ)
⑦[設定]→[ダイヤルアップ状態]	⑦ダイヤルアップ通信状態を表示する (→65ページ)
⑧[設定]→[通信履歴]	⑧過去のダイヤルアップ通信の利用履歴を確認する (→66ページ)
⑨[設定]→[通信集計]	⑨通信結果を集計する (→67ページ)
⑩[ヘルプ]→[カード情報]	⑩カード情報を確認する (→68ページ)
⑪[ヘルプ] →[ユーティリティヘルプ]	⑪ユーティリティのヘルプファイルを見る (→69ページ)
⑫[ヘルプ] →[ユーティリティバージョン]	⑫ユーティリティのバージョンを確認する (→69ページ)

詳細については以下を参照ください。

①ダイヤルアップ接続／切断する

ダイヤルアップの接続／切断を行います。メイン画面の「接続／切断」ボタンと同じ働きをします。

②パソコンから取り外す

パソコンから本製品を取り外す時に選択します。メイン画面の「取り外し」ボタンと同じ働きをします。

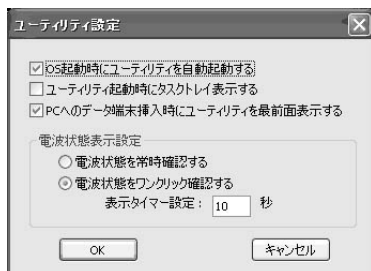


- アンテナ部分を持って取り付け・取り外しを行わないでください。無理な力を加えると、故障の原因となります。
- 本製品を取り外すときはあらかじめパソコンの電源を切るか、上記の本製品の動作を停止させる操作を行った後に取り外してください。
- パソコンの内部にあった金属部は熱くなっている事がありますので、すぐに触らないようご注意ください。

3 その他の操作

③ユーティリティの動作設定

- 1 ユーティリティのメニューより[設定]→[ユーティリティ設定]をクリックします。
- 2 「ユーティリティ設定」の画面が表示されたら設定したい項目にチェックを入れる、または数値を記入してください。



設定項目	設定内容
OS起動時にユーティリティを自動起動する	OSを起動させたときにユーティリティが自動的に起動します。ユーティリティはタスクトレイに表示されます。
ユーティリティ起動時にタスクトレイ表示する	ショートカットやスタートメニューからユーティリティを起動させたとき、ユーティリティをタスクトレイに表示させます。
PCへのデータ端末挿入時にユーティリティを最前面表示する	本製品をパソコンに取り付けたときに、ユーティリティを画面最前面に表示させます。
電波状態表示設定	ダイヤルアップ接続していないときに、電波状態をワンクリック確認(10秒~60秒の間で表示時間を設定できます)するか、表示し続けるか選択できます。

- 3 [OK]をクリックしてください。これでユーティリティの動作設定が完了しました。

④-1. ダイヤルアップ接続先 (APN) を編集する

- 1 ユーティリティのメニューより[設定]→[ダイヤルアップ設定]をクリックします。
- 2 「ダイヤルアップ設定」の画面が表示されたら[接続先設定]タブをクリックして、編集したい行を選択して[編集]をクリックします。

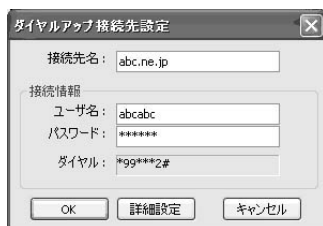


10ヶ所までダイヤルアップ接続先 (APN) を登録することができます。
削除するときは、削除したい行を選択して[削除]をクリックしてください。
初期設定では、#1にイー・モバイルが提供するインターネット接続サービスの接続先があらかじめ設定されております。

- 接続先 : emb.ne.jp
- ユーザ名 : em
- パスワード : em

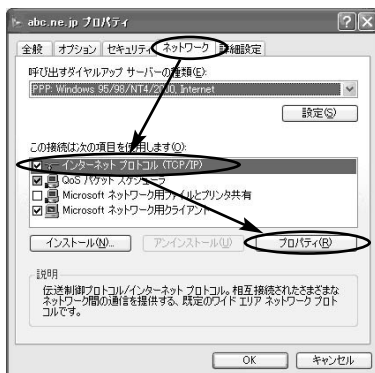
3 その他の操作

- 3 「ダイヤルアップ接続先設定」の画面が表示されたら、利用されるプロバイダの接続先名 (APN)、ユーザ名、パスワードを入力します。

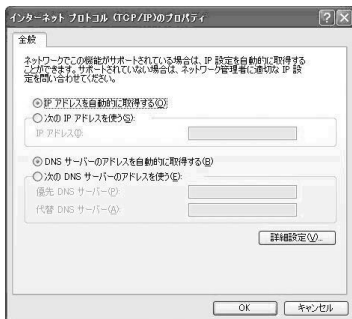


IPアドレスやDNSアドレスが指定されている場合は[詳細設定]をクリックしてください。→4へ。
指定がない場合は[OK]をクリックして「ダイヤルアップ接続先設定」を閉じてください。→6へ。

- 4 プロパティ画面が表示されたら、[ネットワーク]タブをクリックして、その後に[インターネットプロトコル (TCP/IP)]をクリックして選択し、[プロパティ]をクリックします。



- 5 「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」の画面が表示されたら、プロバイダの指示に従いIPアドレスとDNSアドレスの設定を行ってください。設定が完了したら[OK]を2回クリックして「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」と「ダイヤルアップ接続先設定」の画面を閉じてください。



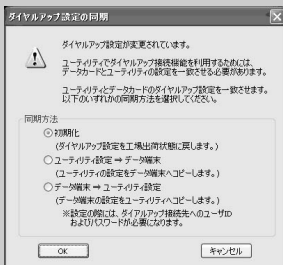
- 6 [OK]をクリックして「ダイヤルアップ設定」の画面を閉じてください。これで接続先 (APN) の編集が完了しました。

なお接続先 (APN) を初期化する場合に 2 で[初期化]→[OK]の順にクリックすると初期化されます。

ユーティリティはダイヤルアップのときに 2 で設定される「現在の接続先」を自動的に選択します。

お願い ●本製品とユーティリティでは、それぞれダイヤルアップ接続先設定を保管しています。これらが一致しないときに「ダイヤルアップ設定の同期」画面が表示されます。以下のいずれかの同期方法を選択してください。

初期化	本製品の設定、ユーティリティの設定とも工場出荷状態に戻します。
ユーティリティ設定⇒データ端末	ユーティリティの設定を本製品へコピーします。
データ端末⇒ユーティリティ設定	本製品の設定をユーティリティへコピーします。



3 その他の操作

④-2. 料金プラン設定

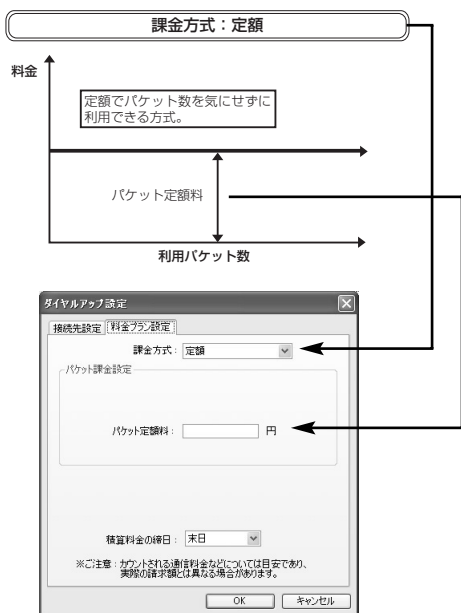
お願い ●パケット数量または通信料金が一定を超えた場合に事前警告を表示するように設定できます。ご契約の料金プランに合わせた設定を行った上でご利用ください。

1 ユーティリティのメニューより[設定]→[ダイヤルアップ設定]をクリックします。

2 「ダイヤルアップ設定」の画面が表示されたら[料金プラン設定]タブをクリックしてください。

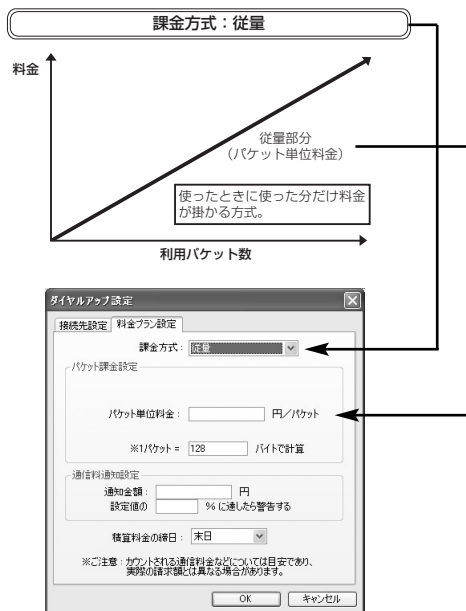
契約内容により設定内容が異なりますので、設定方法にご注意ください。

課金方式：定額の場合



- 課金方式：「定額」を選択します。
- パケット課金設定で、パケット定額料を入力します。
- 通信料通知設定は設定できません。
- 積算料金の締日には、月々の料金計算の締日を選択します。
- 課金方式はご契約事業者が提供するサービス内容により異なります。

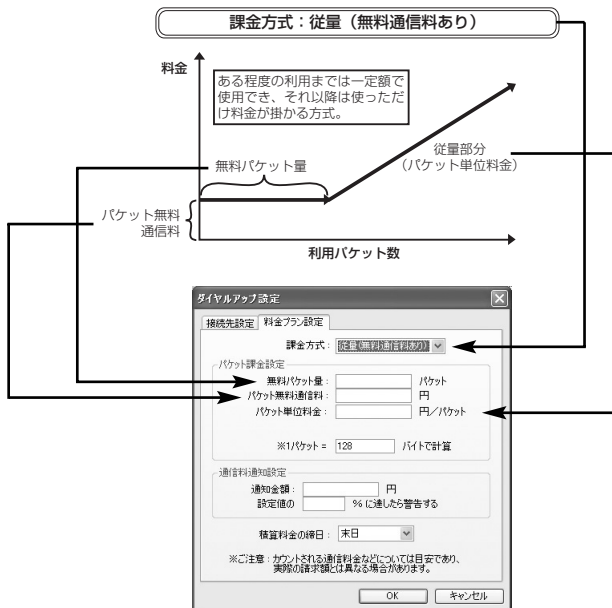
課金方式：従量の場合



- 課金方式：「従量」を選択します。
- パケット課金設定で、パケット単位料金を入力します。
- 通信料通知設定で、警告を表示する設定値を入力します。
- 積算料金の締日には、月々の料金計算の締日を選択します。
- 課金方式はご契約事業者が提供するサービス内容により異なります。

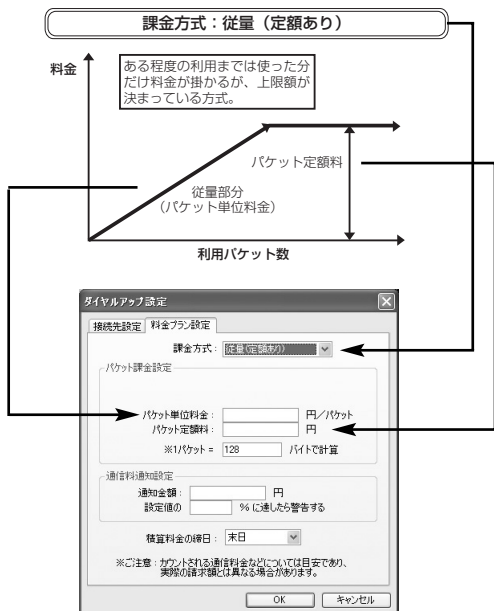
3 その他の操作

課金方式：従量（無料通信料あり）の場合



- 課金方式：「従量（無料通信料あり）」を選択します。
- バケット課金設定で、無料バケット量、バケット無料通信料、バケット単位料金を入力します。
- 通信料通知設定で、警告を表示する設定値を入力します。
- 積算料金の締日には、月々の料金計算の締日を選択します。
- 課金方式はご契約事業者が提供するサービス内容により異なります。

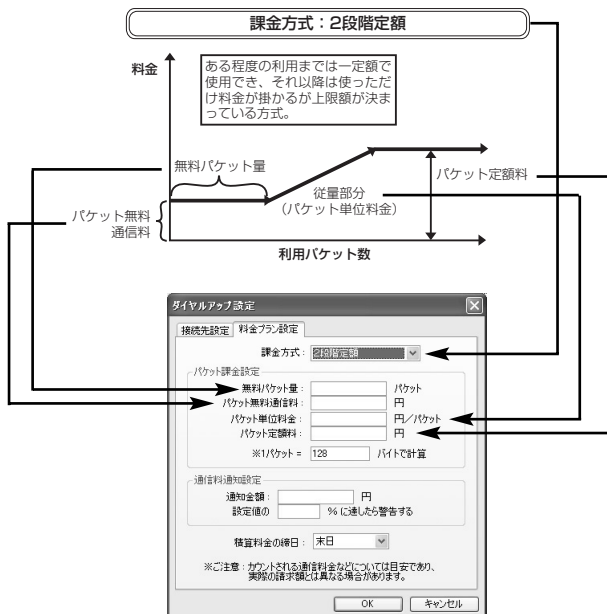
課金方式：従量（定額あり）の場合



- 課金方式：「従量（定額あり）」を選択します。
- パケット課金設定で、パケット単位数料金、パケット定額料を入力します。
- 通信料通知設定で、警告を表示する設定値を入力します。
- 積算料金の締日には、月々の料金計算の締日を選択します。
- 課金方式はご契約事業者が提供するサービス内容により異なります。

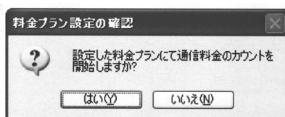
3 その他の操作

課金方式：2段階定額の場合



- 課金方式：「2段階定額」を選択します。
- パケット課金設定で、無料パケット量、パケット無料通信料、パケット単位料金、パケット定額料を入力します。
- 通信料通知設定で、警告を表示する設定値を入力します。
- 積算料金の締日には、月々の料金計算の締日を選択します。
- 課金方式はご契約事業者が提供するサービス内容により異なります。

3 [OK]をクリックすると「料金プラン設定の確認」画面が表示されます。内容が正しければ[はい]をクリックしてください。これで④-2.料金プラン設定が完了しました。

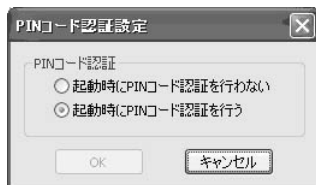


⑤ PINコード認証を有効／無効にする

1 ユーティリティのメニューより[設定]→[PIN有効／無効]をクリックします。

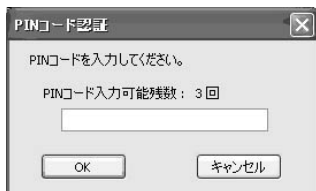
2 起動時にPINコード認証を行う／行わないに応じて、どちらかを選択して[OK]をクリックします。

「起動時にPINコード認証を行う」にすると、本製品の次回取り付け、またはパソコンの次回起動以降「PINコード認証」の画面が表示されるようになります。このときにキャンセルをするとユーティリティが使用できませんのでご注意ください。ご購入時にはPINコード認証を行わない設定になっています。



お願い ● PINコード認証は、本製品をパソコンに挿入した時やパソコン起動時、休止状態からの復帰時等、本製品を起動した直後のみ必要となります。PINコード認証後のセキュリティに不安がある方はパソコンのセキュリティロックを設定することを推奨します。

3 変更する場合は「PINコード認証」の画面が表示されます。正しいPINコードを入力してください。



お願い ● PINコードを3回連続で間違えるとPINロック状態になってしまいます。その場合PINロック解除コードが必要になります。PINロック解除コード（PUKコード）についてはご契約先の窓口までお問い合わせください。またPINロック解除コード（PUKコード）を10回連続で間違えると、完全ロック状態となります。完全ロック状態になるとEM chipの交換が必要になります。ご契約先の窓口までお問い合わせください。

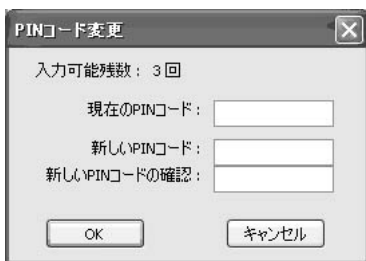
4 [OK]をクリックしてください。これで「PINコード認証設定」が完了しました。

3 その他の操作

⑥PINコードを変更する

前記⑤のPINコード認証設定で「起動時にPINコード認証を行う」を選択している場合に限り、PINコードを変更することが可能です。

- 1 ユーティリティのメニューより[設定]→[PINコード変更]をクリックします。
- 2 「PINコード変更」の画面が表示されたら、「現在のPINコード」、「新しいPINコード」、「新しいPINコードの確認」（新しいPINコードと同じもの）を入力します。



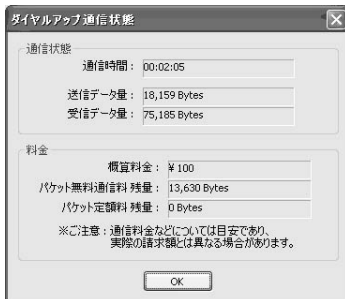
「新しいPINコード」と「新しいPINコードの確認」が一致しない場合、PINコードの変更は行われません。再度正確に入力してください。

- お願い**
- PINコードを3回連続で間違えるとPINロック状態になってしまいます。その場合PINロック解除コードが必要になります。またPINロック解除コード（PUKコード）を10回連続で間違えると、完全ロック状態となります。完全ロック状態になるとEM chipの交換が必要になります。ご契約先の窓口までお問い合わせください。
 - PINコードは、4～8桁の数字（0～9）です。
 - PINロック解除コード（PUKコード）は8桁の数字（0～9）です。

- 3 [OK]をクリックしてください。これで「PINコード変更」が完了しました。

⑦ダイヤルアップ通信状態を表示する

- 1 ユーティリティのメニューより[設定]→[ダイヤルアップ通信状態]をクリックします。
- 2 「ダイヤルアップ通信状態」の画面が表示されます。



表示される内容は以下のとおりです。

通信時間	ダイヤルアップ接続開始時から現在までの通信時間
送信データ	ネットワークへ送信したデータ量
受信データ	ネットワークから受信したデータ量
概算料金	当月請求額の概算料金 (ただし、料金についてはあくまでも目安であり、実際の請求額と異なることがあります。)
パケット無料通信料 残量	従量（無料通信料あり）・2段階定額の利用料が無料通信分を超えるまでの残りパケット数。
パケット定額料 残量	従量（定額あり）・2段階定額の利用料がパケット定額料（上限）に到達するまでの残りパケット数。

- 3 [OK]をクリックすると、画面を閉じます。

3 その他の操作

⑧過去のダイヤルアップ通信の利用履歴を確認する

1 ユーティリティのメニューより[設定]→[通信履歴]をクリックします。

2 「通信履歴」の画面が表示されます。

接続先	開始日時	終了日時	通信時間	送信データ量	受信データ量	パケット無料通信料 残量	パケット定額料 残量	概算金額
emb.ne.jp	2006/11/02 23:31:00	2006/11/02 23:34:00	2分36秒	15,935 Bytes	196,453 By...	0 Bytes	---	---
emb.ne.jp	2006/11/04 00:00:00	2006/11/04 00:28:00	28分43秒	259,248 By...	2,313,287 ...	0 Bytes	---	---
emb.ne.jp	2006/11/05 00:15:00	2006/11/05 00:52:00	37分40秒	341,250 By...	3,046,000 ...	0 Bytes	---	---
emb.ne.jp	2006/11/06 06:30:00	2006/11/06 06:45:00	18時間15分36秒	662,530 By...	6,090,000 ...	0 Bytes	---	---
emb.ne.jp	2006/11/07 06:45:00	2006/11/07 09:36:00	28時間51分00秒	1,543,750 ...	13,775,000 ...	0 Bytes	---	---
emb.ne.jp	2006/11/08 08:03:00	2006/11/08 14:24:00	6時間21分00秒	3,439,583 ...	30,691,667 ...	0 Bytes	---	---
emb.ne.jp	2006/11/09 10:24:00	2006/11/09 20:09:00	9時間49分36秒	5,236,667 ...	47,173,333 ...	0 Bytes	---	---
emb.ne.jp	2006/11/10 12:42:00	2006/11/10 13:26:00	44分24秒	400,833 By...	3,576,667 ...	0 Bytes	---	---
emb.ne.jp	2006/11/11 23:10:00	2006/11/12 10:33:00	11時間23分36秒	6,171,369 ...	55,067,778 ...	0 Bytes	---	---
emb.ne.jp	2006/11/12 23:04:00	2006/11/12 23:36:00	32分36秒	288,889 By...	2,577,778 ...	0 Bytes	---	---
emb.ne.jp	2006/11/13 19:37:00	2006/11/14 02:24:00	6時間47分00秒	3,674,306 ...	32,786,111 ...	0 Bytes	---	---
emb.ne.jp	2006/11/14 17:22:00	2006/11/15 07:40:00	14時間18分48秒	7,753,056 ...	69,181,111 ...	0 Bytes	---	---
emb.ne.jp	2006/11/15 15:44:00	2006/11/15 13:26:00	21時間49分24秒	11,757,778 ...	104,915,55 ...	0 Bytes	---	---
emb.ne.jp	2006/11/16 13:53:00	2006/11/16 19:40:00	5時間47分48秒	3,139,861 ...	28,017,222 ...	0 Bytes	---	---
emb.ne.jp	2006/11/17 01:01:00	2006/11/17 00:24:00	18時間29分00秒	749,306 By...	6,686,111 ...	0 Bytes	---	---
emb.ne.jp	2006/11/18 22:01:00	2006/11/19 09:36:00	11時間29分00秒	6,274,306 ...	55,586,111 ...	0 Bytes	---	---
emb.ne.jp	2006/11/19 03:00:00	2006/11/19 17:16:00	14時間16分48秒	7,235,000 ...	69,020,000 ...	0 Bytes	---	---
emb.ne.jp	2006/11/20 20:20:00	2006/11/21 01:28:00	5時間6分24秒	2,766,111 ...	24,682,222 ...	0 Bytes	---	---

※ご注意ください：通信料金を単位には目安で、実際の請求額とは異なる場合があります。

表示される内容は以下のとおりです。

接続先	ダイヤルアップ接続先 (APN)
開始日時	通信を開始した日時
終了日時	通信を終了した日時
通信時間	ダイヤルアップ接続していた時間
送信データ量	送信データの総量
受信データ量	受信データの総量
パケット無料通信料 残量	従量 (無料通信料あり)・2段階定額の利用料が無料通信分を超えるまでの残りパケット数。(→60・62ページ)
パケット定額料 残量	従量 (定額あり)・2段階定額の利用料がパケット定額料 (上限)に到達するまでの残りパケット数。(→61・62ページ)
概算金額	通信時間および単価から算出される概算金額 (無料通信分は考慮済み)

最後に接続した月を含めて、最大14ヶ月前までのデータを表示します。

閉じるときは[OK]をクリックしてください。

なお[履歴消去]をクリックすると、全ての履歴データが消去されます。

- お願い
- マルチユーザーで使用された場合、各ユーザーの通信履歴は合算されます。
 - マルチユーザーログイン中、一方のユーザーがアプリケーション使用中は他方のユーザーは使用できません。

⑨通信結果を集計する

1 ユーティリティのメニューより[設定]→[通信集計]をクリックします。

2 「通信集計」の画面が表示されます。

利用した「月別」と「接続先別」で集計することができます。



表示される内容は以下のとおりです。

表示内容	月別	接続先別
通信時間	○	○
送信データ量	○	○
受信データ量	○	○
概算料金	○	—
パケット無料通信料 残量	○	—
パケット定額料 残量	○	—

最大14ヶ月前までのデータを表示します。

閉じるときは[OK]をクリックしてください。

- お願い**
- マルチユーザーで使用された場合、各ユーザーの通信履歴は合算されます。
 - マルチユーザーログイン中、一方のユーザーがアプリケーション使用中は他方のユーザーは使用できません。

3 その他の操作

⑩カード情報を確認する

1 ユーティリティのメニューより[ヘルプ]→[カード情報]をクリックします。

2 「カード情報」の画面が表示されます。

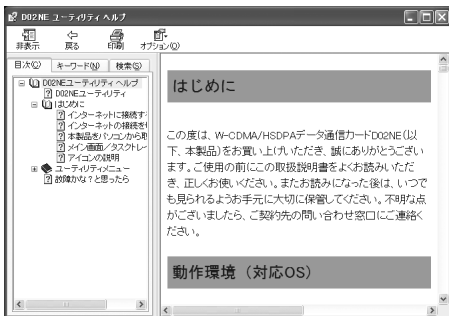


加入者電話番号と端末のソフトウェアバージョンを確認することができます。
閉じるときは[OK]をクリックしてください。

- お願い**
- 本製品をパソコンに取り付けた後、数十秒間は電話番号の取得ができないことがあります。
 - 電話番号の欄が"..."の場合、電話番号がまだ取得されていません。しばらく待ってから「カード情報」を開きなおして確認してください。

⑪ ユーティリティのヘルプファイルを見る

- 1 ユーティリティのメニューより[ヘルプ]→[ユーティリティヘルプ]をクリックします。
- 2 「ヘルプ」の画面が表示されます。



閉じるときは右上の[×]をクリックしてください。

なお、ヘルプファイルはパソコンのファンクションキー[F1]を押すことでいつでも見ることができます。

⑫ ユーティリティのバージョンを確認する

- 1 ユーティリティのメニューより[ヘルプ]→[ユーティリティヘルプ]をクリックします。
- 2 「バージョン情報」の画面が表示されます。

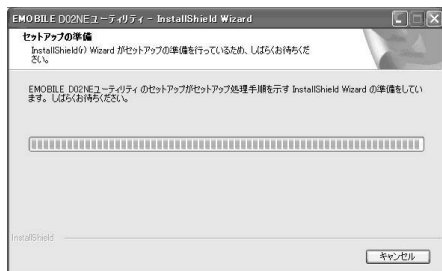


閉じるときは[OK]をクリックしてください。

3 その他の操作

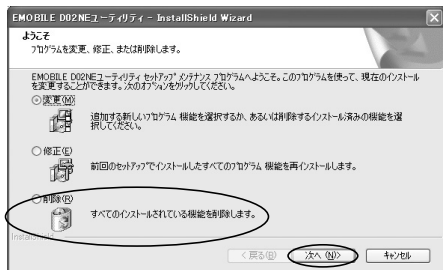
ユーティリティ、ドライバをアンインストールする

- 1 付属のCD-ROMをCDドライブにセットします。
自動的にインストールが始まり、下記の様な画面が表示されます。



画面が表示されない場合は、マイコンピュータの画面などから[CD-ROM]¥UTILITY¥Setup.exeをダブルクリックして実行してください。

- 2 下記の画面が表示されます。ユーティリティを削除する場合は[削除]を選択して[次へ]をクリックします。



- 3 下記の画面が表示されますので、「はい」をクリックします。




4 [アンインストール完了]の画面が表示されたら、[完了]をクリックします。



これでパソコンからユーティリティがアンインストールされました。

お願い ●アンインストールは、[スタート]メニュー→[コントロールパネル]→[プログラムの追加と削除] (Windows 2000の場合は[アプリケーションの追加と削除])から削除することもできます。

5 本製品をパソコンから取り外します。既に取り外している場合は、6へお進みください。取り外し方は、画面右下のタスクトレイに表示されたをクリックし、「NEC PCI to USB Open Host Controller を安全に取り外します」を選択してクリックします。「データカードの取り外しが可能な状態になりました。」もしくは「NEC PCI to USB Open Host Controller は安全に取り外すことができます。」のメッセージが表示されたら、パソコンのイジェクトボタンを押してカードを取り外してください。

6 [スタート]メニュー→[コントロールパネル]→[プログラムの追加と削除]から、[Windows ドライバパッケージ - NEC Infrontia(d02nemodem) Modem]を選択して、[変更と削除]をクリックします。

Windows 2000の場合は[スタート]メニュー→[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]から行ってください。

7 [このドライバを使用しているすべてのデバイスが削除されます。続行しますか?]のメッセージが表示されます。[はい]をクリックしてください。

ドライバの削除が完了したら[プログラムの追加と削除] (Windows 2000の場合は[アプリケーションの追加と削除]) から[Windows ドライバパッケージ - NEC Infrontia(d02nemodem) Modem]の表示が消えます。

8 パソコンを再起動させてください。

これでパソコンからドライバがアンインストールされました。

お願い ●Windows Vistaについては、同梱のWindows Vistaセットアップマニュアルを参照してください。

3 その他の操作

省電力モードを解除する方法

本製品をセットアップすると、初期設定では省電力モードに設定されています。この状態では本製品とパソコンの間でしばらく通信が行われないと本製品のランプが消灯します。ユーティリティなどで本製品と通信を行うと、再びランプが点灯します。以下の手順を行うことにより、本製品の省電力モードを解除することができます。この変更を行うことにより、ユーティリティなしでもアンテナ／電源ランプにより電波状況を確認することが可能となります。

- 1 [スタート] → [コントロールパネル] → [電話とモデムのオプション]を選択します。
- 2 [モデム]タブの[EMOBILE D02NE Modem]を選択し、[プロパティ]を選択します。



- 3 [電源管理]の[電力節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフできるようにする]のチェックを外し、[OK]をクリックします。



これで本製品の省電力モードを解除しました。

ATコマンドについて

本製品では、パソコンから本製品を制御するためのいくつかのコマンドをサポートしています。このコマンドを使うことによって、各種設定やカードの制御を行うことができます。コマンドの詳細については[CD-ROM]¥Documents¥DO2NE_Atcommand.pdfをご覧ください。

ATコマンドを使う

ここでは、Windows XPに付属の通信ソフト「ハイパーターミナル」を使ってATコマンドを入力する方法を説明します。他のOSまたは他の通信ソフトをお使いの場合は、以下を参考にしてください。

- 1 [スタート]メニューから、[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]と選択し、[ハイパーターミナル]を選択します。

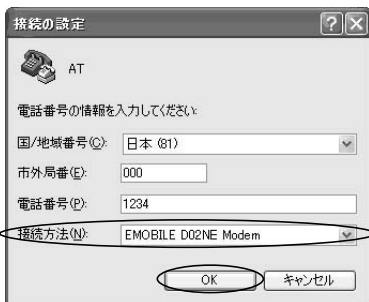
- お願い
- EM chipを本製品に取り付けた状態で行ってください。EM chipが取り付けられていない場合、エラーとなり通信することができません。
 - ハイパーターミナルが表示されない場合には、パソコンの説明書などを参照の上インストールするか、パソコンメーカーのサポート窓口までお問い合わせください。

- 2 「接続の設定」の画面が開きます。[名前]に接続先の名称や通信方式などの分かりやすい名前（例：AT）を入力し、[OK]をクリックします。

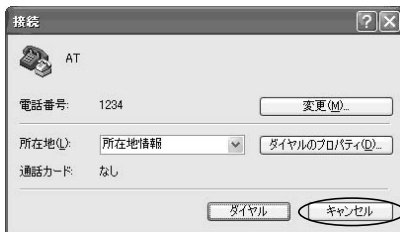


3 その他の操作

- 3 「電話番号」に適当な番号（例：1234）を入力し、「接続方法」で「EMOBILE D02NE Modem」を選択して「OK」をクリックします。



- 4 [キャンセル]をクリックします。



「接続」の画面が閉じてコマンド入力画面になります。

- 5 この状態で「AT」と入力して【Enter】キーを押し、「OK」と表示されたら設定は完了です。



「AT」と入力しても「AT」が表示されない場合には、「ATE1」と入力して【Enter】キーを押してください。この状態で入力したコマンドが表示されるようになります。

4 こんな時は

故障かな?と思ったら76

4 こんな時は

故障かな？と思ったら

本製品が正常に動作しないなど、故障かな？と思ったらときは、まず次の項目を確認してください。それでも問題が解決しないときは、ご契約先の窓口にお問い合わせください。

症状	確認項目
パソコンが本製品を認識しない。	<ul style="list-style-type: none"> ■本製品が正しくセットされていますか？ もう一度しっかりと差し込んでください。 ■ドライバは正常に動作していますか？ 「スタート」→「コントロールパネル」→「システム」で「システムのプロパティ」の画面を表示し、「ハードウェア」→「デバイスマネージャ」から「デバイスマネージャ」の画面を表示します。そこで、 <ol style="list-style-type: none"> 1. USB (Universal Serial Bus) コントローラの「NEC PCI to USB Open Host Controller」が表示されること 2. モデムの「EMOBILE D02NE Modem」が表示されることを確認してください。表示されていない場合は、ドライバが正しくインストールされていません。本製品のセットアップをやり直してください。(→22ページ) ■省電力タイプのパソコンでは、PCカードの電源をOFFにしていることがあります。パソコンの取扱説明書をご覧になって、電源の状態を確認してください。
ユーティリティが動かない。	<ul style="list-style-type: none"> ■ユーティリティのインストールは完了していますか？ インストールが完了しないと使えません。
通信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ■サービスエリアの圏外ではありませんか？ ユーティリティの「電波の状態 (フックリック)」をクリックして、電波状態を確認してください。(→50ページ) またはアンテナ／電源ランプ (▼) が赤点灯になっていると圏外です。(→14ページ) ■PINコード認証キャンセル状態ではありませんか？ 本製品を再度取り付けて正しいPINコードを入力しないと通信できません。 ■PINロック状態ではありませんか？ 本製品を再度取り付けて、正しいPINロック解除コード (PUKコード) を入力しないと通信できません。 ■EM chip完全ロック状態ではありませんか？ そのままでは使えないのでご契約先の窓口までお問い合わせください。 ■EM chipは本製品に取り付けられていますか？ EM chipが取り付けられていないと通信できません。 ■EM chipは指定されたものが取り付けられていますか？ EM chipは指定されたものを使用してください。それでも動かない場合はEM chipが故障している可能性があります。 ■ダイヤルアップ接続設定は正しいですか？ イー・モバイルが提供するインターネット接続サービスの接続先 (APN) は「emb.ne.jp」 (ID : em、パスワード : em) です。またはプロバイダより提供された接続先設定を正しく設定してください。

症状	確認項目
通信がすぐに切れる。	<ul style="list-style-type: none"> ■接続先が混雑していると利用できないことがあります。しばらくしてからもう一度接続してみてください。 ■電波状態が良くないことがあります。アンテナをまっすぐ立てて、ユーティリティの「電波の状態（ワンクリック）」をクリックして、電波状態が良い状態で試してください。（→50ページ） ■アンテナ／電源ランプ（▼）が緑点灯になっている場所で試してください。（→14ページ）
通信速度が遅く感じる。	<ul style="list-style-type: none"> ■電波状態が良くないことがあります。アンテナをまっすぐ立てて、ユーティリティの「電波の状態（ワンクリック）」をクリックして、電波状態が良い状態で試してください。（→50ページ） ■アンテナ／電源ランプ（▼）が緑点灯になっている場所で試してください。（→14ページ） ■回線状態が良くないことがあります。時間をおいて再度試してください。 ■ユーティリティをインストールしていますか？ユーティリティをインストールすることでお客様の環境が最適化されるので、インストールすることをお勧めします。
「ダイヤルアップ設定の同期」の画面が表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ■本製品本体とユーティリティでは、それぞれダイヤルアップ接続先設定を保管しています。これらが一致しないときに「ダイヤルアップ設定の同期」の画面が表示されます。このときは、いずれかの同期方法を選択してください。
付近のテレビやラジオなどに雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> ■本製品は法令で許容されている微弱な量ですが、若干の電磁的ノイズを発生します。付近のテレビやラジオに影響を与えることもあります。テレビやラジオから本製品を離すようにしてください。
PINコードを忘れた。PINロック解除コードを知らない。EM chip完全ロック状態である。	<ul style="list-style-type: none"> ■ご契約先の窓口にお問い合わせください。

4 こんな時は

症状	確認項目
<p>管理者 (Administrator) 権限でログインしているのか判らない。</p>	<p>■下記の方法で確認してください。 ※Windows Vistaについては、同梱のWindows Vistaセットアップマニュアルを参照してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [スタート]→[シャットダウン]をクリックして、「Windowsのシャットダウン」の画面を表示します。 2. プルダウンメニュー (▼) をクリックして「○○○のログオフ」の○○○を確認します。(これが現在ログインしているユーザー名です。) 3. 「Windowsのシャットダウン」は[キャンセル]します。 4. コントロールパネルを開きます。 Windows XPの場合は[スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。Windows 2000の場合は[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックします。 5. Windows XPの場合は[ユーザーアカウント]、Windows 2000の場合は[ユーザーとパスワード]をクリックします。 6. 表示された画面の「ユーザー名」から、2. で調べたユーザー名○○○を見てください。そのユーザー名の「グループ」の欄に「Administrators」と書いてあれば問題ありません。本製品をセットアップできます。
<p>アンテナ／電源ランプ、モードランプが消灯している。</p>	<p>■ユーティリティの「電波状態の確認」をクリックしてください。 ■初期設定では本製品は省電力モードになっています。この状態では、本製品とパソコンの間でしばらく通信が行われないとランプが消灯します。通信が行われると再び点灯・点滅します。省電力モードを解除することもできます。(→72ページ)</p>
<p>EM chipが認識されない。</p>	<p>■EM chipの金属端子部分が汚れていませんか？ 端子部分が汚れている場合、認識できないことがあります。柔らかい布などで拭き取ってください。 ■EM chipが故障している可能性があります。 ご契約先の窓口にお問い合わせください。</p>

5 付録

用語集	80
索引	82
主な仕様	83
保証とアフターサービス	84

用語集

ATコマンド

米国Hayes社で開発され、モデムの制御などに一般的に利用されているコマンド群です。コマンドはすべて文字列で、「AT」に続けて指定することから、「ATコマンド」と呼ばれています。

APN

Access Point Nameの略で、インターネットサービスプロバイダが提供する接続先のことをいいます。APNに接続することでインターネットに接続できます。イー・モバイルが提供するインターネット接続サービスのAPNは「emb.ne.jp」です。

bps

データ通信速度の単位です。Bit Per Secondの略で、1秒間に送信できるビット数を表します。

EM chip

イー・モバイルと契約された方に貸与するICカード（USIMカード）です。これを本製品に取り付けしないと本製品は動作しません。

EMモバイルブロードバンド

イー・モバイルが提供する通信サービスの名称です。

HSDPA

High Speed Downlink Packet Accessの略で、W-CDMA方式よりも下り方向の通信速度が向上する方式です。通信速度は下り最大7.2Mbpsです。

PC Card Standard

PCMCIAと日本電子工業振興協会（JEIDA）が共同で開発した、カード型機器の規格です。この規格に準拠したカード型機器のことを「PCカード」と呼びます。

PCMCIA

Personal Computer Memory Card International Associationの略で、日本電子工業振興協会（JEIDA）とともにPC Card Standardを開発した団体のことです。PCカードのインタフェース規格の名称に記載されたことから、一般にPCカードのインタフェース規格を意味する場合もあります。

PINコード

Personal Identification Numberの略で、他人からの無断使用を防ぐ目的として持っているUSIMの暗証番号です。

USIMカード

Universal Subscriber Identity Moduleの略称で、契約している事業者情報や契約者の電話番号などの個人情報を記録しているICカードです。イー・モバイルが貸与するEM chipはUSIMカードです。

W-CDMA

Wideband Code Devision Multiple Accessの略称で、第3世代携帯電話の通信方式のひとつです。通信速度は上り・下りとも最大384kbpsです。

アクセスポイント

プロバイダが提供しているインターネットへ接続するための中継点のことです。本製品からEMモバイルブロードバンド回線を利用してアクセスポイントへ接続することで、インターネットへ接続できます。各プロバイダでは、APN（アクセスポイントネーム）を用意しています。インターネットに接続するときは、あらかじめアクセスポイントについての情報を入手し、本製品で接続できるアクセスポイントを選択してください。

ダイヤルアップネットワーク

電話回線を経由してネットワークに接続する方式のことです。本製品はEMモバイルブロードバンドの携帯電話回線を経由してインターネットへ接続します。

ドライバ

デバイスドライバの略で、個々の周辺機器を制御するためのプログラムモジュールのことです。各周辺機器は、製品によって様々な制御方式を持っています。ドライバは、標準的な制御手順しか持たないOSから個々の周辺機器を制御するための、インタフェースとして働きます。

パケット通信

情報をパケット（小包）に分割して、パケット単位で情報をやり取りする方式です。

プロバイダ

インターネットへの接続サービスを提供する企業や団体のことをいいます。個人でインターネットを利用する場合にはプロバイダに加入し、認証のためのユーザーID、パスワードを発行してもらいます。インターネットサービスプロバイダやISPともいいます。

ベストエフォート方式

本製品は下り最大7.2Mbpsの回線速度で通信することができます。（HSDPA）しかし、これは常時7.2Mbpsの回線速度を保証したものではありません。電波の強さが悪くなるなど様々な状況によって回線速度は変わってきます。このような方式をベストエフォート方式と言います。

モデム情報ファイル

Windows から個々のモデムを利用するために、Windowsに対して行う詳細設定を定義したファイルで、拡張子「.inf」を持つことから「INFファイル」とも呼ばれます。ドライバのインストール時には、最初にINFファイルが検索され、INFファイルに定義された手順に従ってドライバファイルのコピーや各種の設定が行われます。

索引

英文字・数字

APN	28, 37, 41, 50, 53, 55, 56, 57, 66, 76, 80, 81
ATコマンド	12, 73, 80, 83
bps	16, 80, 81
DNSアドレス	56, 57
EM chip	1, 6, 7, 9, 14, 17, 18, 19, 52, 63, 64, 73, 76, 77, 78, 80
EM chip取り付けトレイ	7, 13, 17, 18
EMモバイルブロードバンド	16, 80, 81
HSDPA	1, 16, 80, 81, 83
IPアドレス	56, 57
PCカード	1, 7, 13, 26, 35, 76, 80
PINコード認証	19, 52, 53, 63, 64
PINロック解除コード	14, 19, 52, 63, 64, 76, 77
PUKコード	19, 52, 63, 64, 76
W-CDMA	1, 16, 80, 81, 83

五十音

[あ行]

アンテナ	6, 7, 9, 13, 15, 26, 35, 44, 53, 77, 83
アンテナ／電源ランプ	13, 14, 72, 76, 77, 78

[か行]

課金方式	58, 59, 60, 61, 62
故障かな?と思ったら	76

[た行]

ドライバ	12, 22, 23, 24, 25, 26, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 38, 39, 40, 45, 48, 49, 70, 71, 76, 81
------------	--

[は行]

パケット通信	16, 81
ベストエフォート	16, 81

[ま行]

モードランプ	13, 14, 78
--------------	------------

[や行]

ユーティリティ	12, 14, 15, 16, 19, 22, 23, 24, 26, 28, 29, 31, 32, 33, 35, 37, 38, 40, 41, 42, 43, 44, 46, 48, 49, 50, 51, 53, 54, 55, 57, 58, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 76, 77
---------------	--

主な仕様

製品名	D02NE
形状	PC Card Standard Type II 準拠 (32bit Cardbus Interface)
外形寸法	115.0mm × 54.0mm × 8.0mm (アンテナ収納時)
質量	約50g (本体のみ)
電源	DC 3.3V
消費電力	通信時最大：約3.3W 通信時平均：約2.0W 待機時：約130mW ※使用状況により消費電力は変化します。
環境条件	動作温度範囲：0～35℃ 動作湿度範囲：30～85% (結露しないこと)
制御コマンド	Hayes標準ATコマンドに準拠
対応周波数	上り：1749.9～1764.9MHz 下り：1844.9～1859.9MHz
通信方式	W-CDMA/HSDPA
技術基準設計認証番号	AD07-0501001

保証とアフターサービス

【保証について】

- お買上げいただくと、保証書がついています。

記載内容および「お買上げ日・販売店」の記載事項をよくお確かめの上、大切に保管してください。

- 保証内容については保証書に記載されております。

【修理について】

- 修理を依頼される場合、この本説明書をお読みになり、もう一度ご使用方法や設定状態をご確認ください。それでも改善、復旧しない場合は、ご契約先の窓口までご相談ください。

- 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。

- 保証期間経過後の修理

修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有償にて修理いたします。

《ご注意》

- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通信等の機会を逸したために発生した障害など付随的な障害の保障については当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

- 故障または修理により、お客さまが登録されたデータやお客さまが独自に設定、インストールされたソフトが消去される（出荷時の初期状態となる）場合があります。

- 本製品を分解、改造すると電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理を受付できませんのでご注意ください。

【補修用部品】

本製品および周辺機器の補修用性能部品の最低保有期間は生産終了後6年間です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

<お問い合わせ先>

イー・モバイル カスタマーセンター



0120-736-157

受付時間 9:00~21:00 (年中無休)

ホームページ <http://emobile.jp/>



発売元：イー・モバイル株式会社

製造元：NECインフロンティア株式会社

発行年月：2008年1月 第1版

A50-013233-001

